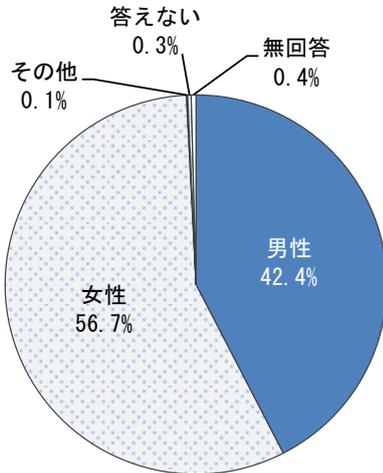


第2章 調査結果及び分析

1 外国人市民を対象とした調査結果及び分析

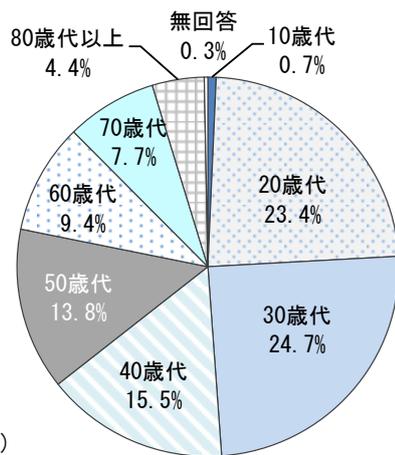
(1) 回答者の属性【問1～問10】

問1 性別



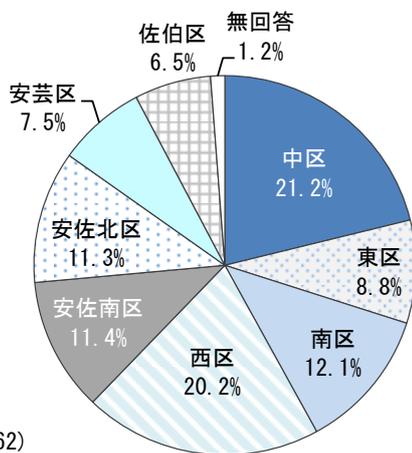
	回答数	(%)
男性	705	42.4
女性	943	56.7
その他	2	0.1
答えない	5	0.3
無回答	7	0.4
合計	1,662	100.0

問2 年代



	回答数	(%)
10歳代	12	0.7
20歳代	389	23.4
30歳代	411	24.7
40歳代	257	15.5
50歳代	230	13.8
60歳代	157	9.4
70歳代	128	7.7
80歳代以上	73	4.4
無回答	5	0.3
合計	1,662	100.0

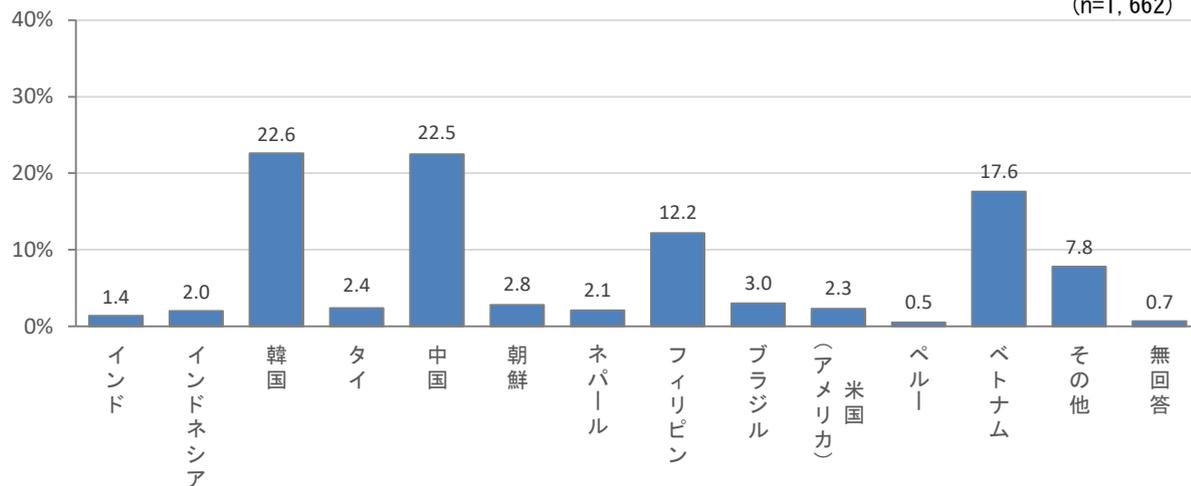
問3 居住地区



	回答数	(%)
中区	352	21.2
東区	146	8.8
南区	201	12.1
西区	335	20.2
安佐南区	189	11.4
安佐北区	187	11.3
安芸区	124	7.5
佐伯区	108	6.5
無回答	20	1.2
合計	1,662	100.0

問4 国籍（出身地）

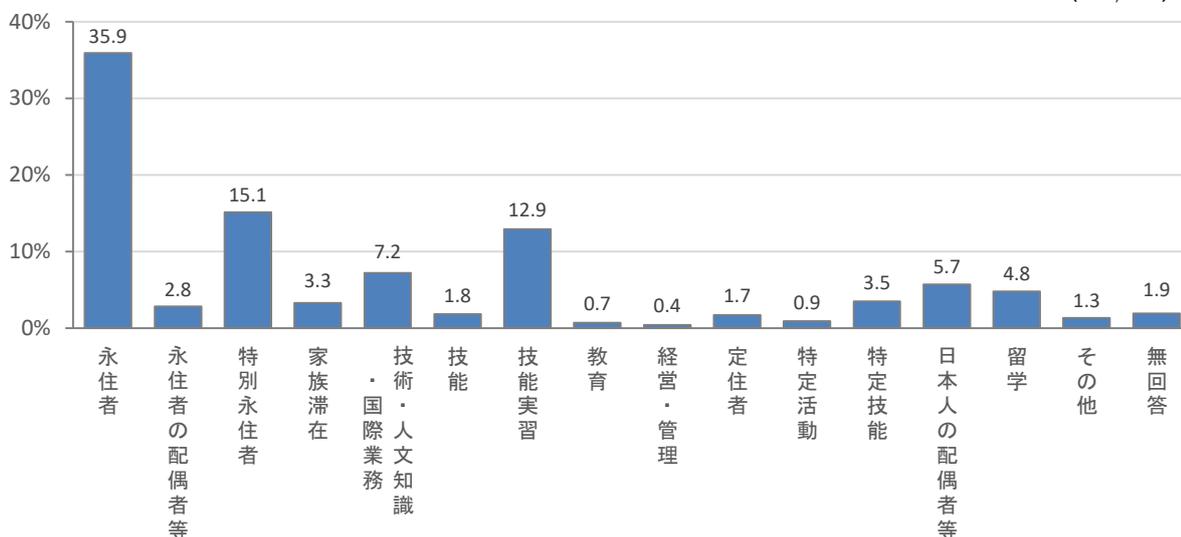
(n=1,662)



	インド	インドネシア	韓国	タイ	中国	朝鮮	ネパール	フィリピン	ブラジル	(アメリカ) 米国	ペルー	ベトナム	その他	無回答	合計
回答数	24	34	375	40	374	46	35	203	50	39	9	292	129	12	1,662
(%)	1.4	2.0	22.6	2.4	22.5	2.8	2.1	12.2	3.0	2.3	0.5	17.6	7.8	0.7	100.0

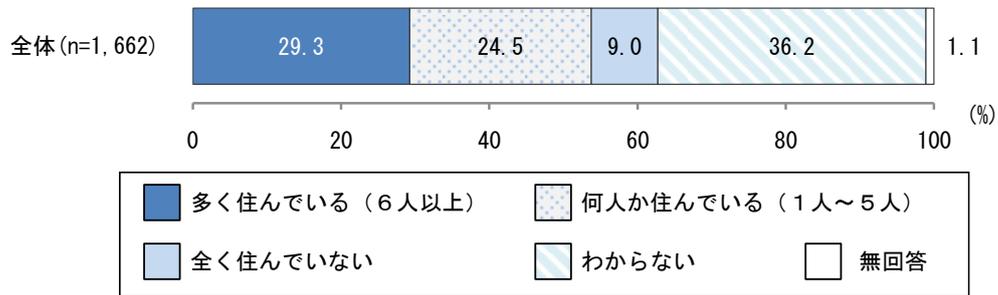
問5 在留資格

(n=1,662)



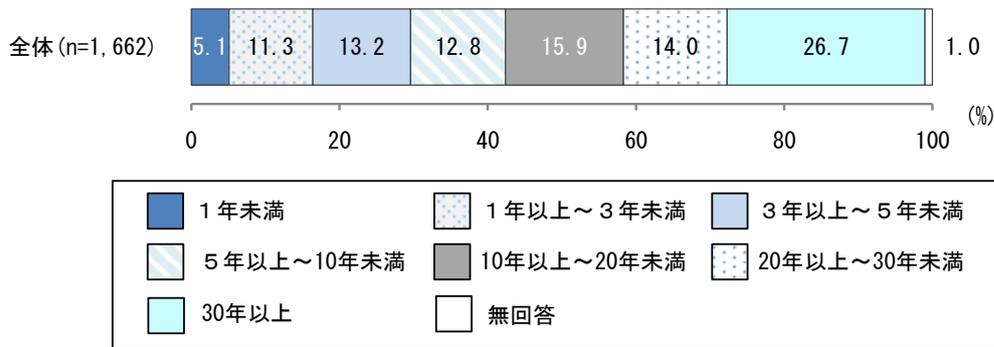
	永住者	永住者の配偶者等	特別永住者	家族滞在	技術・人文知識・国際業務	技能	技能実習	教育	経営・管理	定住者	特定活動	特定技能	日本人の配偶者等	留学	その他	無回答	合計
回答数	596	47	251	55	120	30	215	12	6	29	15	59	94	80	21	32	1,662
(%)	35.9	2.8	15.1	3.3	7.2	1.8	12.9	0.7	0.4	1.7	0.9	3.5	5.7	4.8	1.3	1.9	100.0

問6 あなたの近所に、あなたと同じ国の人はどれくらい住んでいますか。



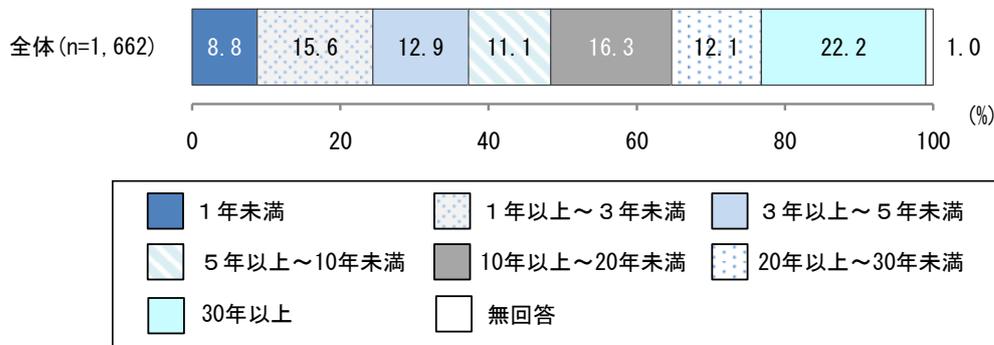
近所に同じ国の人がどれくらい住んでいるかについては、「わからない」が36.2%と最も多く、次いで「多く住んでいる (6人以上)」が29.3%、「何人が住んでいる (1人~5人)」(24.5%)、「全く住んでいない」(9.0%)の順となっている。

問7 あなたが日本に住んでいる期間は、合計すると何年ですか。



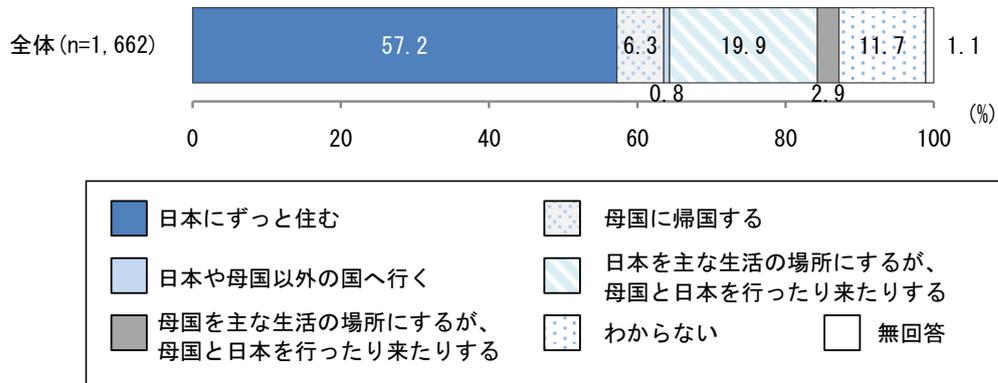
日本に住んでいる期間は、「30年以上」が26.7%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」(15.9%)、「20年以上～30年未満」(14.0%)、「3年以上～5年未満」(13.2%)、「5年以上～10年未満」(12.8%)、「1年以上～3年未満」(11.3%)、「1年未満」(5.1%)の順となっている。

問8 あなたが広島市に住んでいる期間は、合計すると何年ですか。



広島市に住んでいる期間は、「30年以上」が22.2%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」(16.3%)、「1年以上～3年未満」(15.6%)、「3年以上～5年未満」(12.9%)、「20年以上～30年未満」(12.1%)、「5年以上～10年未満」(11.1%)、「1年未満」(8.8%)の順となっている。

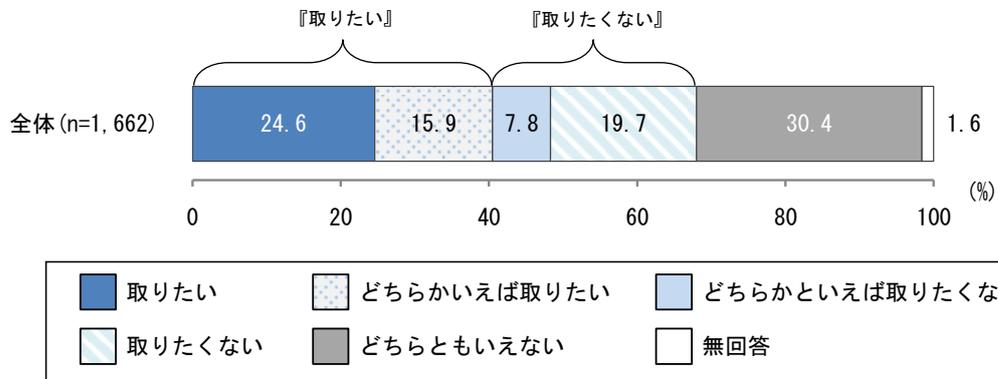
問9 あなたは日本に住み続ける予定ですか。



「日本にずっと住む」が57.2%と最も多く、次いで「日本を主な生活の場所にするが、母国と日本を行ったり来たりする」(19.9%)、「母国に帰国する」(6.3%)と続く。

また、「わからない」は11.7%となっている。

問10 あなたは将来、日本国籍を取りたいと思いますか。



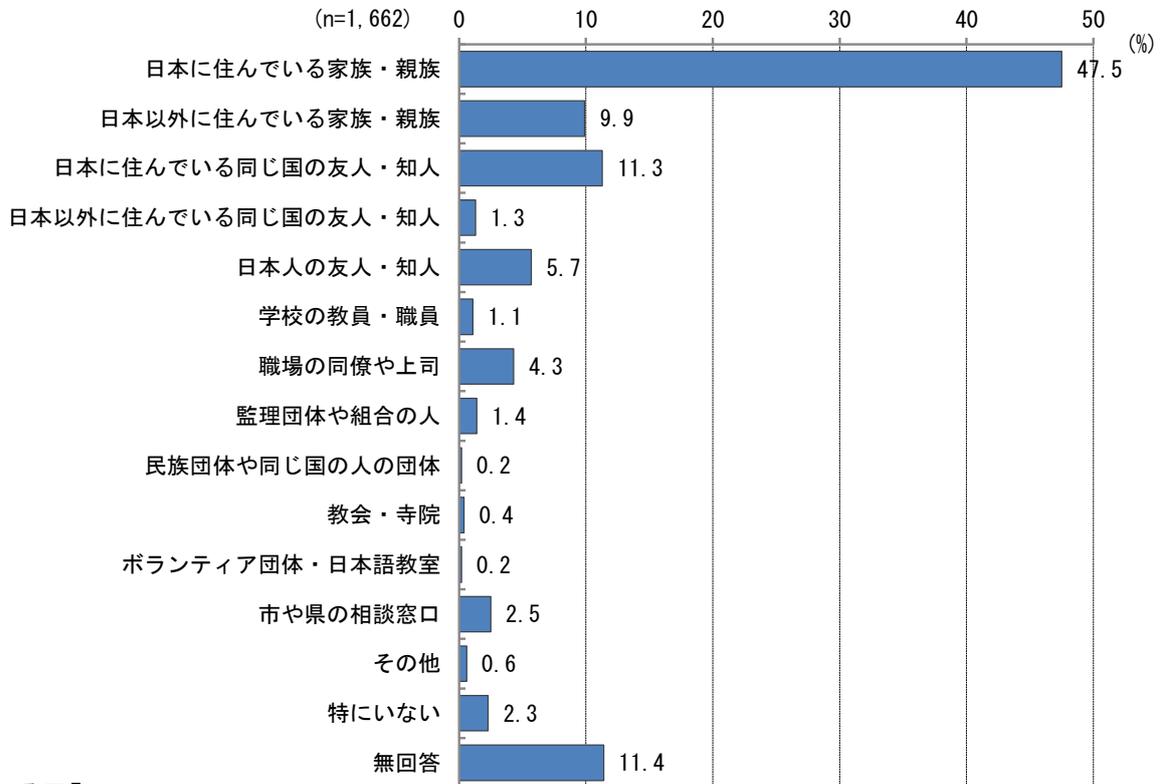
日本国籍を『取りたい』(「取りたい」と「どちらかといえば取りたい」の合計)が40.5%、『取りたくない』(「取りたくない」と「どちらかといえば取りたくない」の合計)が27.5%となっている。

また、「どちらともいえない」は30.4%となっている。

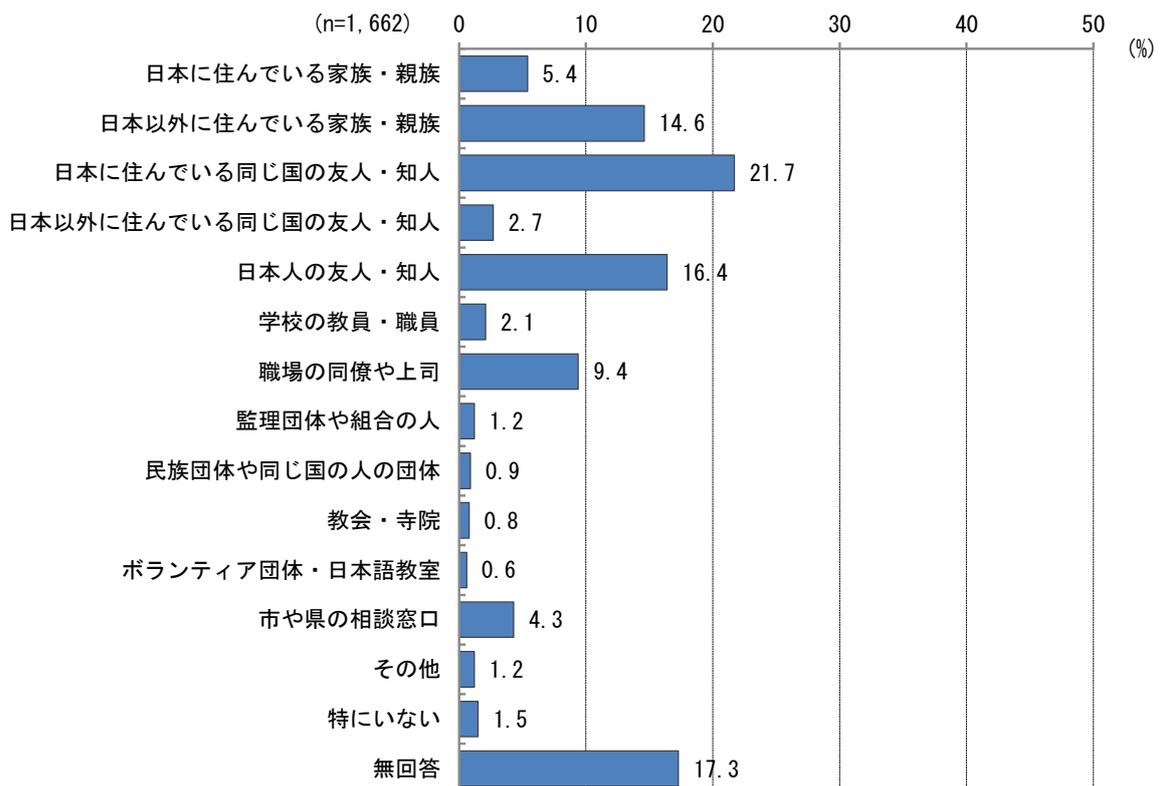
(2) 相談・情報【問 11～問 12】

問 11 あなたは生活のことなどで困ったときにだれに相談しますか。よく相談するほうから3つまで番号を書いてください。

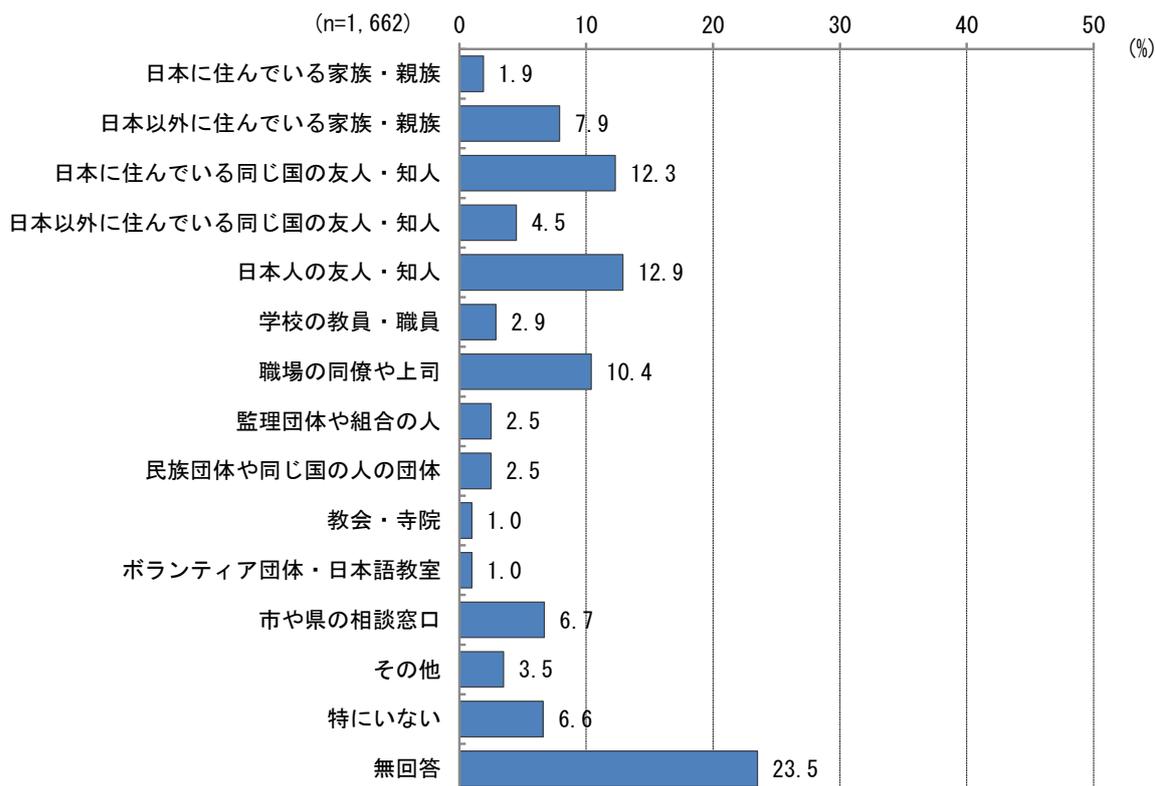
【1番目】



【2番目】



【3番目】



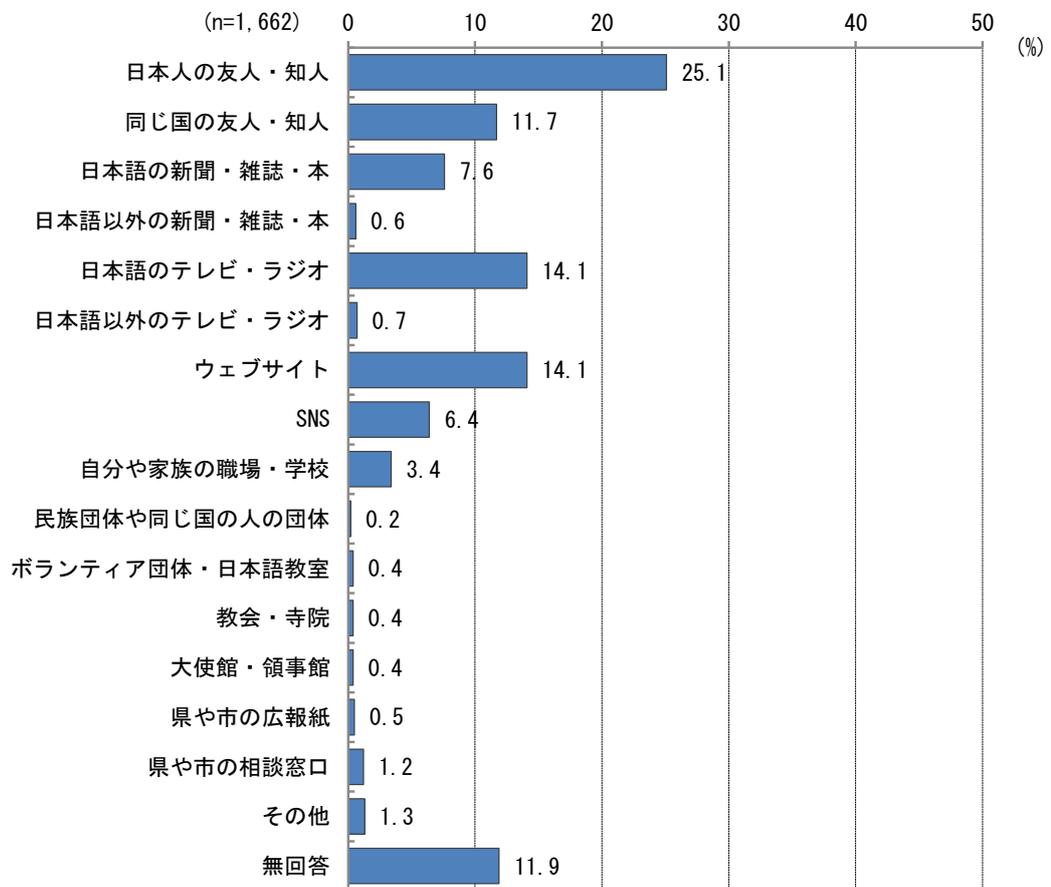
生活などの困りごとについて、1番目の相談先は、「日本に住んでいる家族・親族」が47.5%と最も多く、次いで「日本に住んでいる同じ国の友人・知人」(11.3%)、「日本以外に住んでいる家族・親族」(9.9%)と続く。

2番目の相談先は、「日本に住んでいる同じ国の友人・知人」が21.7%と最も多く、次いで「日本人の友人・知人」(16.4%)、「日本以外に住んでいる家族・親族」(14.6%)と続く。

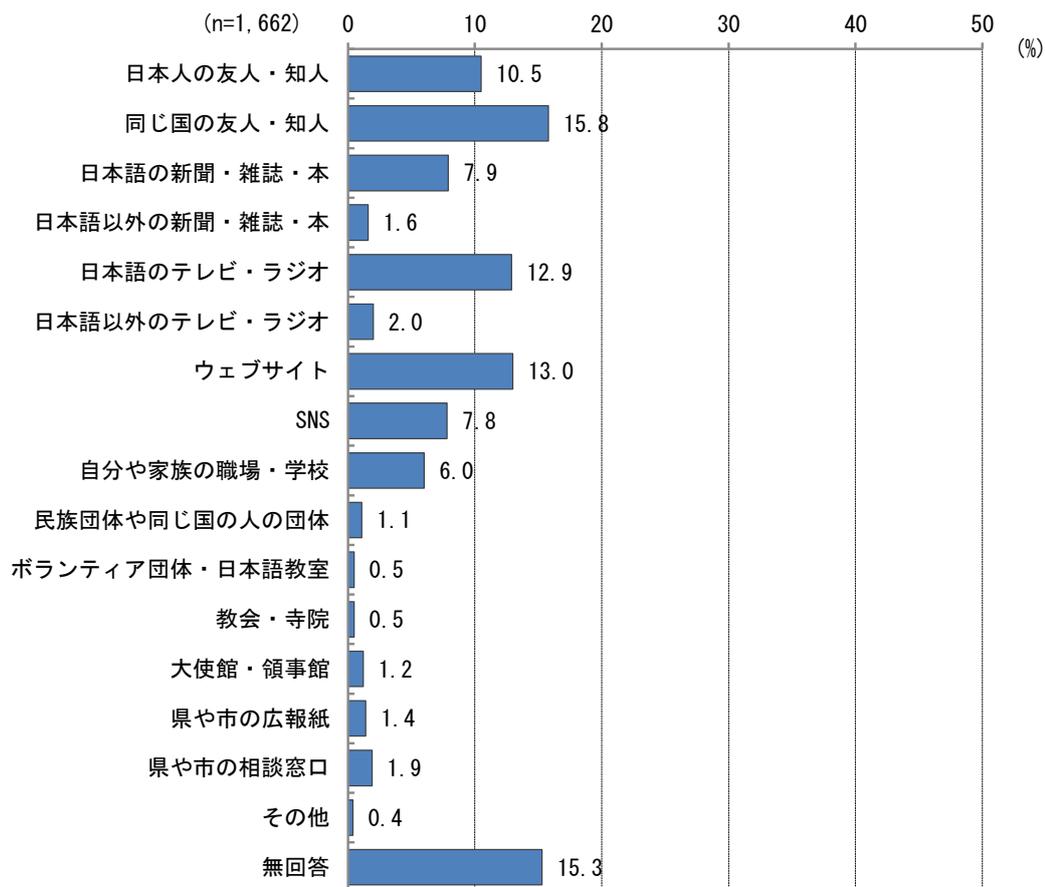
3番目の相談先は、「日本人の友人・知人」が12.9%と最も多く、次いで「日本に住んでいる同じ国の友人・知人」(12.3%)、「職場の同僚や上司」(10.4%)と続く。

問 12 あなたは、日本で生活するための情報を、家族や親族以外でどこから手に入れていますか。よく使う方法から3つまで番号を書いてください。

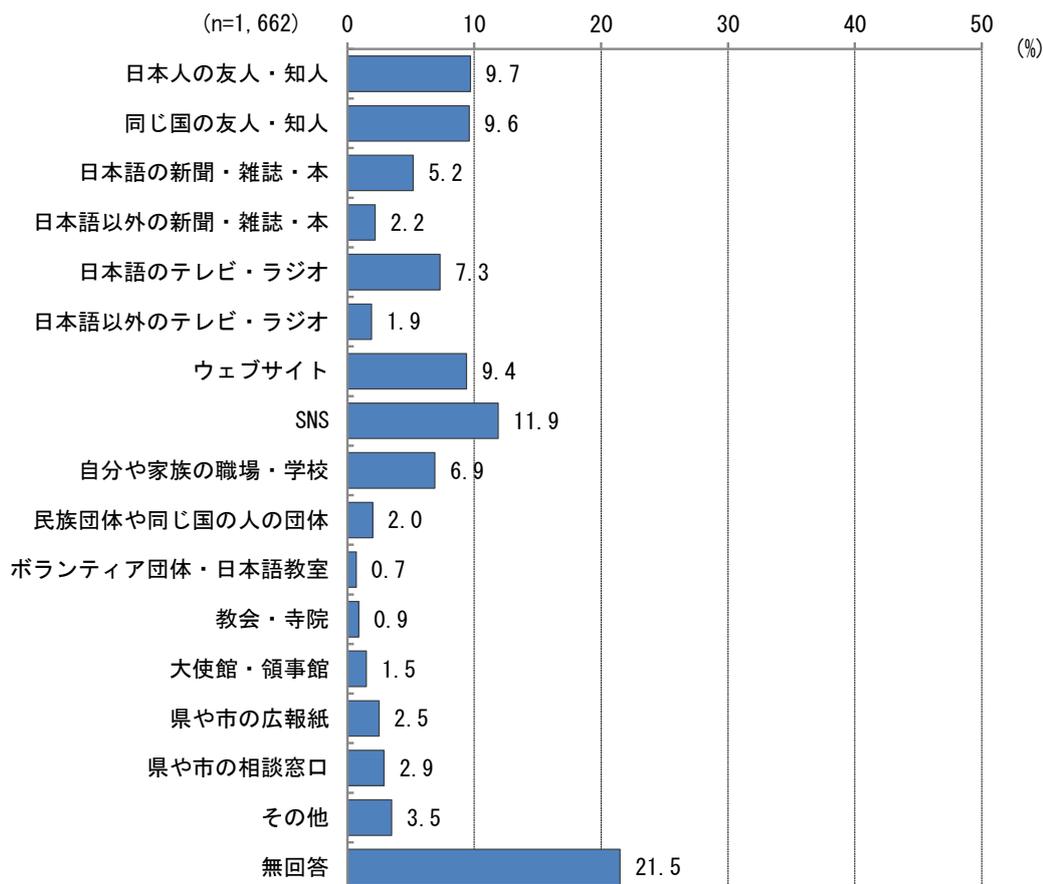
【1番目】



【2番目】



【3番目】



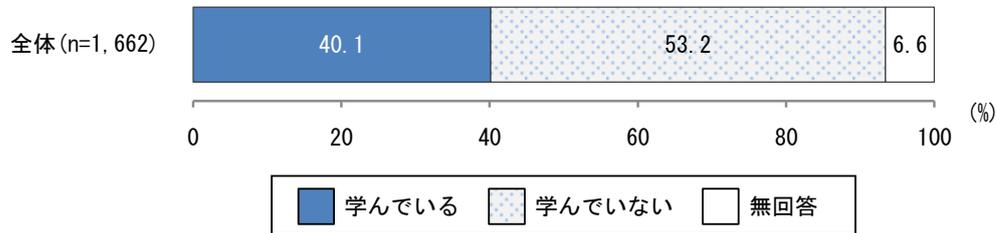
生活情報の入手先について、家族・親族以外の1番目の入手先は、「日本人の友人・知人」が25.1%と最も多く、次いで「日本語のテレビ・ラジオ」、「ウェブサイト」（ともに14.1%）、「同じ国の友人・知人」（11.7%）と続く。

2番目の情報入手先は「同じ国の友人・知人」が15.8%と最も多く、次いで「ウェブサイト」（13.0%）、「日本語のテレビ・ラジオ」（12.9%）と続く。

3番目の情報入手先は「SNS」が11.9%と最も多く、次いで「日本人の友人・知人」（9.7%）、「同じ国の友人・知人」（9.6%）、「ウェブサイト」（9.4%）と続く。

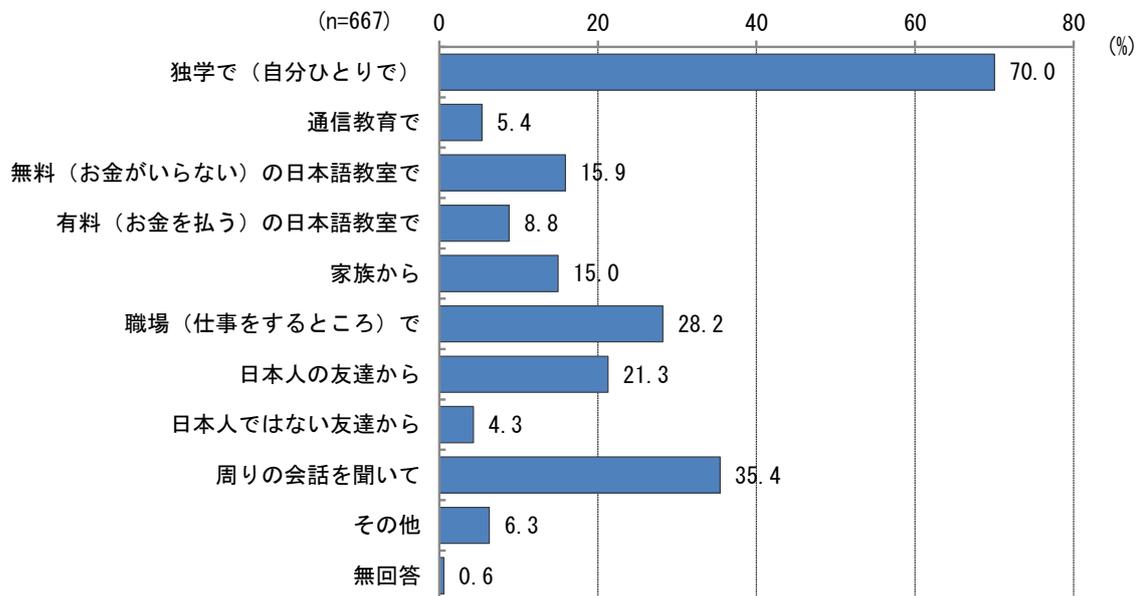
(3) 日本語学習【問13～問16】

問13 あなたは、今、日本語を学んでいますか。



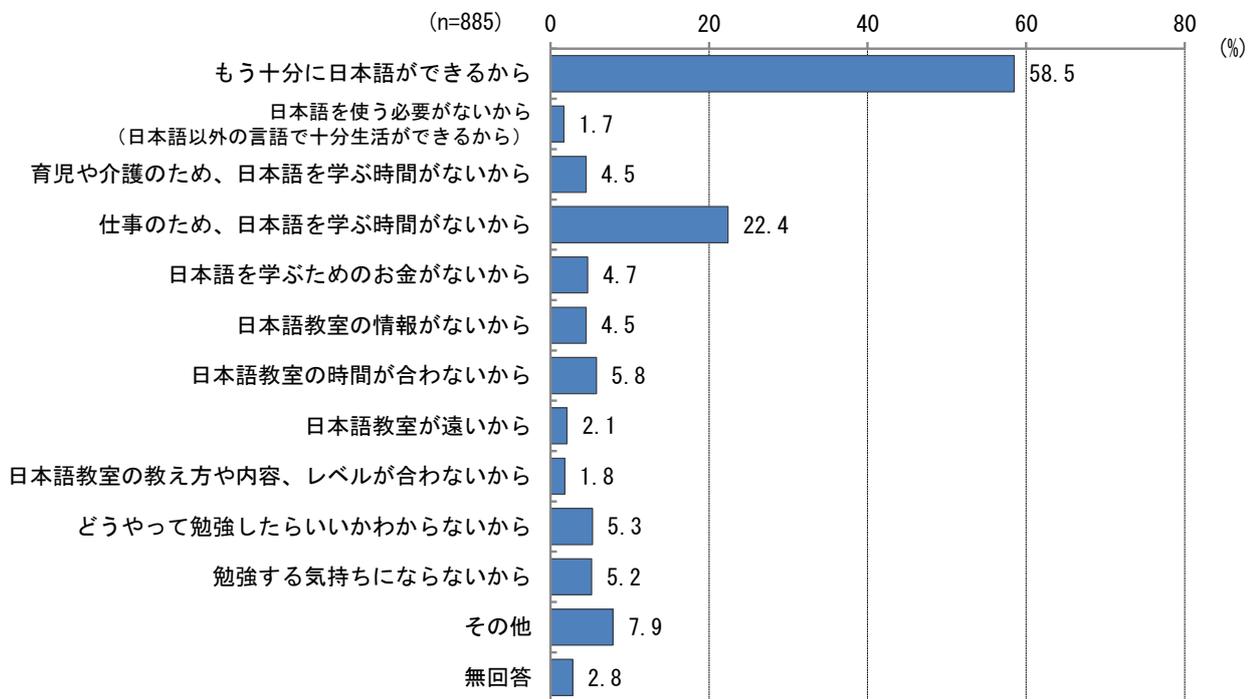
日本語を「学んでいる」が40.1%、「学んでいない」が53.2%となっている。

■問13で、「1 学んでいる」に○をした人（今、日本語を勉強している人）に聞きます。
問14 あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。



日本語学習の方法は、「独学で(自分ひとりで)」が70.0%と最も多く、次いで「周りの会話を聞いて」(35.4%)、「職場(仕事をするところ)で」(28.2%)、「日本人の友達から」(21.3%)、「無料(お金がいない)の日本語教室で」(15.9%)と続く。

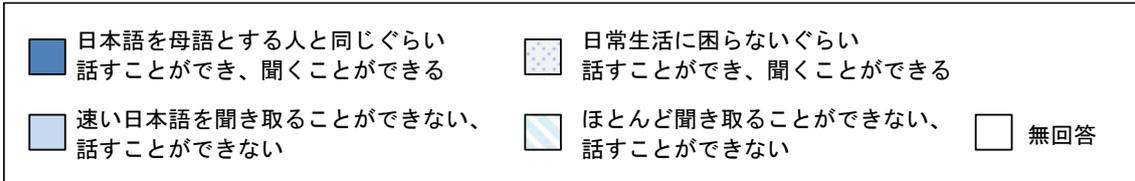
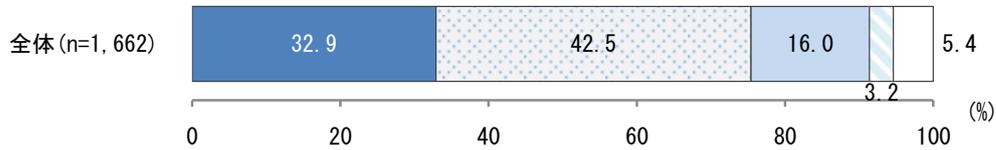
■問 13 で、「2 学んでいない」に○をした人（今、日本語を勉強していない人）に聞きます。
 問 15 今、日本語を学んでいないのはなぜですか。



日本語学習をしていない理由は、「もう十分に日本語ができるから」が 58.5%と最も多く、次いで「仕事のため、日本語を学ぶ時間がないから」(22.4%) と続く。

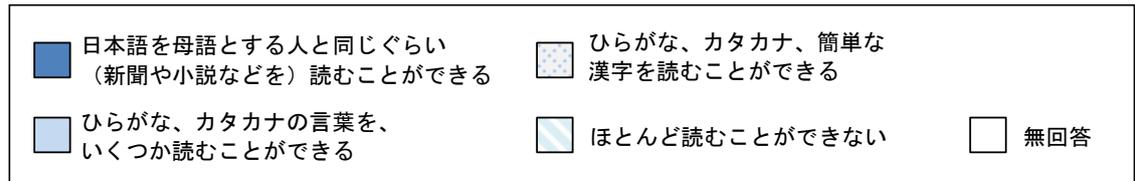
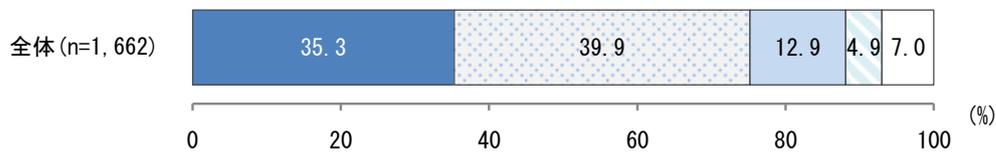
問 16 あなたは日本語がどのくらいできますか。

【A 話す・聞く】



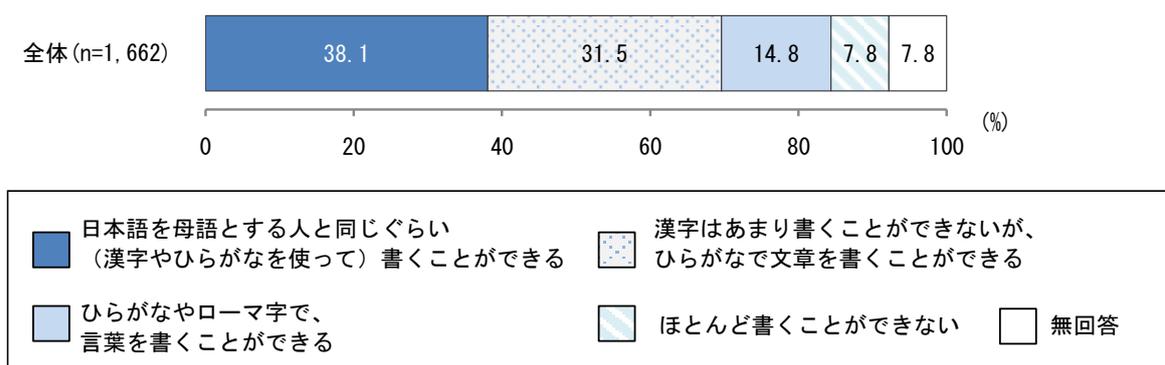
日本語能力（話す・聞く）については、「日常生活に困らないぐらい話すことができ、聞くことができる」が42.5%と最も多く、次いで「日本語を母語とする人と同じくらい話すことができ、聞くことができる」(32.9%)、「速い日本語を聞き取ることができない、話すことができない」(16.0%)、「ほとんど聞き取ることができない、話すことができない」(3.2%)の順となっている。

【B 読む】



日本語能力（読む）については、「ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を読むことができる」が39.9%と最も多く、次いで「日本語を母語とする人と同じくらい(新聞や小説などを)読むことができる」(35.3%)、「ひらがな、カタカナの言葉を、いくつか読むことができる」(12.9%)、「ほとんど読むことができない」(4.9%)の順となっている。

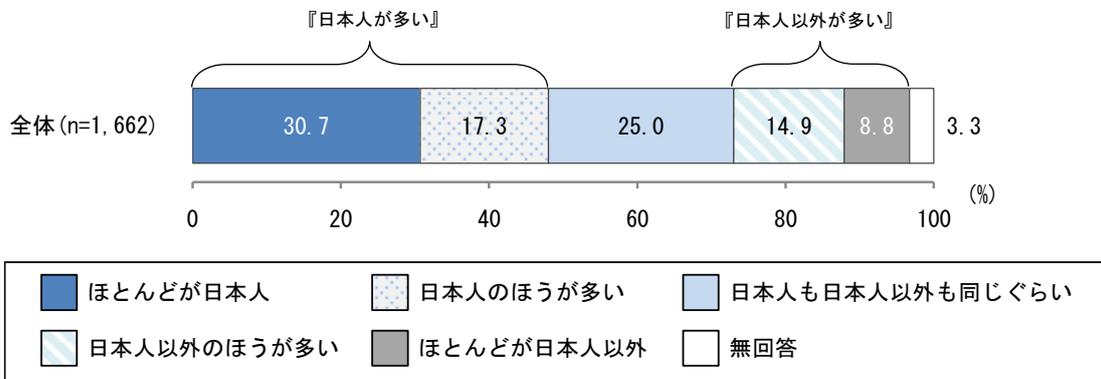
【C 書く】



日本語能力 (書く) については、「日本語を母語とする人と同じくらい (漢字やひらがなを使って) 書くことができる」が 38.1% と最も多く、次いで「漢字はあまり書くことができないが、ひらがなで文章を書くことができる」(31.5%)、「ひらがなやローマ字で、言葉を書くことができる」(14.8%)、「ほとんど書くことができない」(7.8%) の順となっている。

(4) 日本人との交流状況【問 19～問 23】

問 19 あなたが、日本で親しく付き合っているのは日本人が多いですか、日本人以外が多いですか。

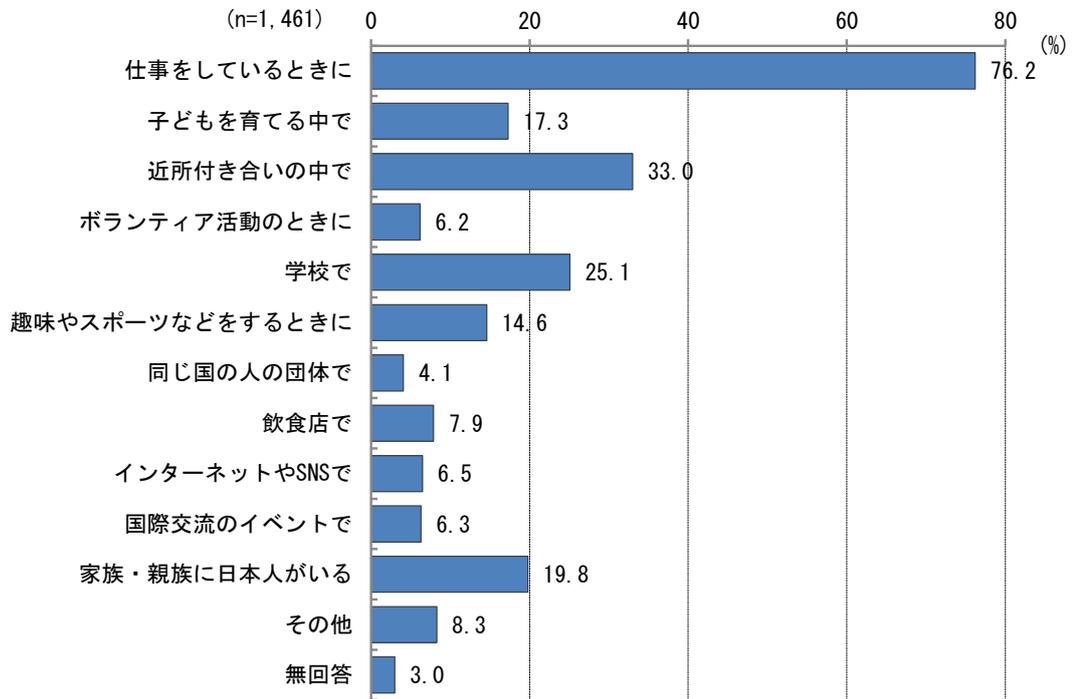


『日本人が多い』（「ほとんどが日本人」と「日本人のほうが多い」の合計）が 48.0%、『日本人以外が多い』（「ほとんどが日本人以外」と「日本人以外のほうが多い」の合計）が 23.7%となっている。

また、「日本人も日本人以外も同じぐらい」が 25.0%となっている。

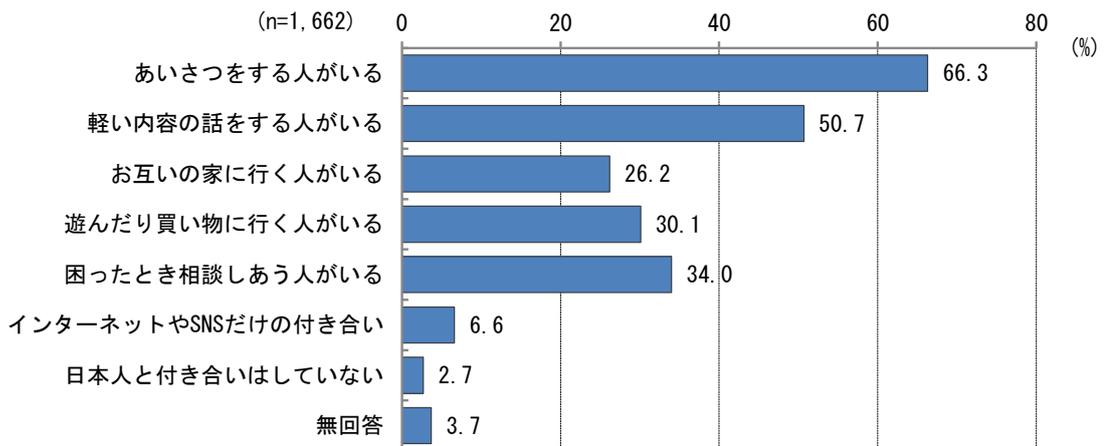
■問 19 で、1～4に○をした人に聞きます。

問 20 日本人とどうやって知り合いましたか。



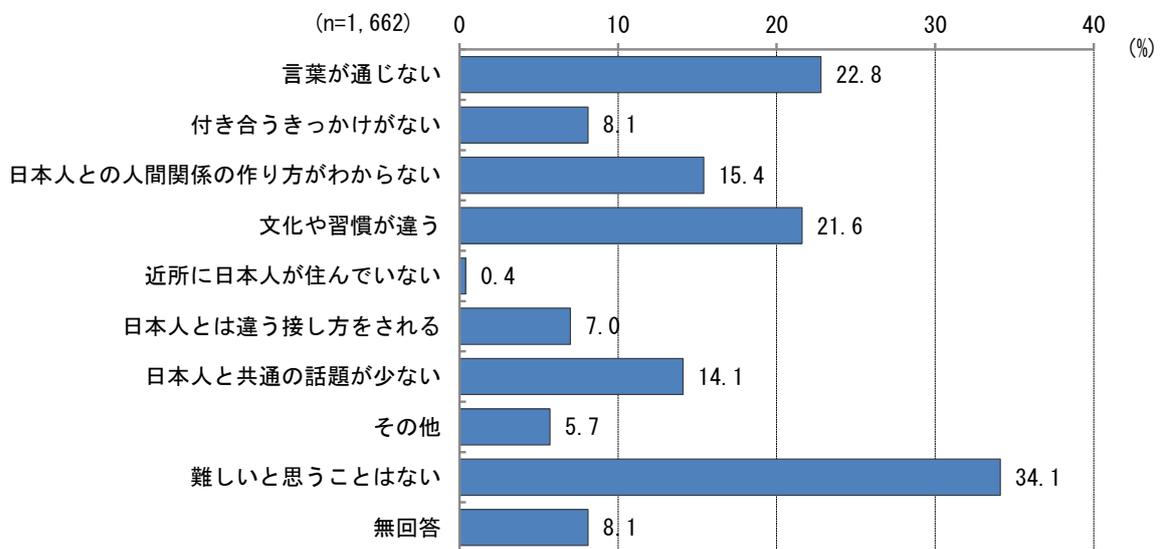
日本人と知り合ったきっかけについては、「仕事をしているときに」が76.2%と最も多く、次いで「近所付き合いの中で」(33.0%)、「学校で」(25.1%)、「家族・親族に日本人がいる」(19.8%)、「子どもを育てる中で」(17.3%)と続く。

問 21 日本人と どんな付き合いをしていますか。



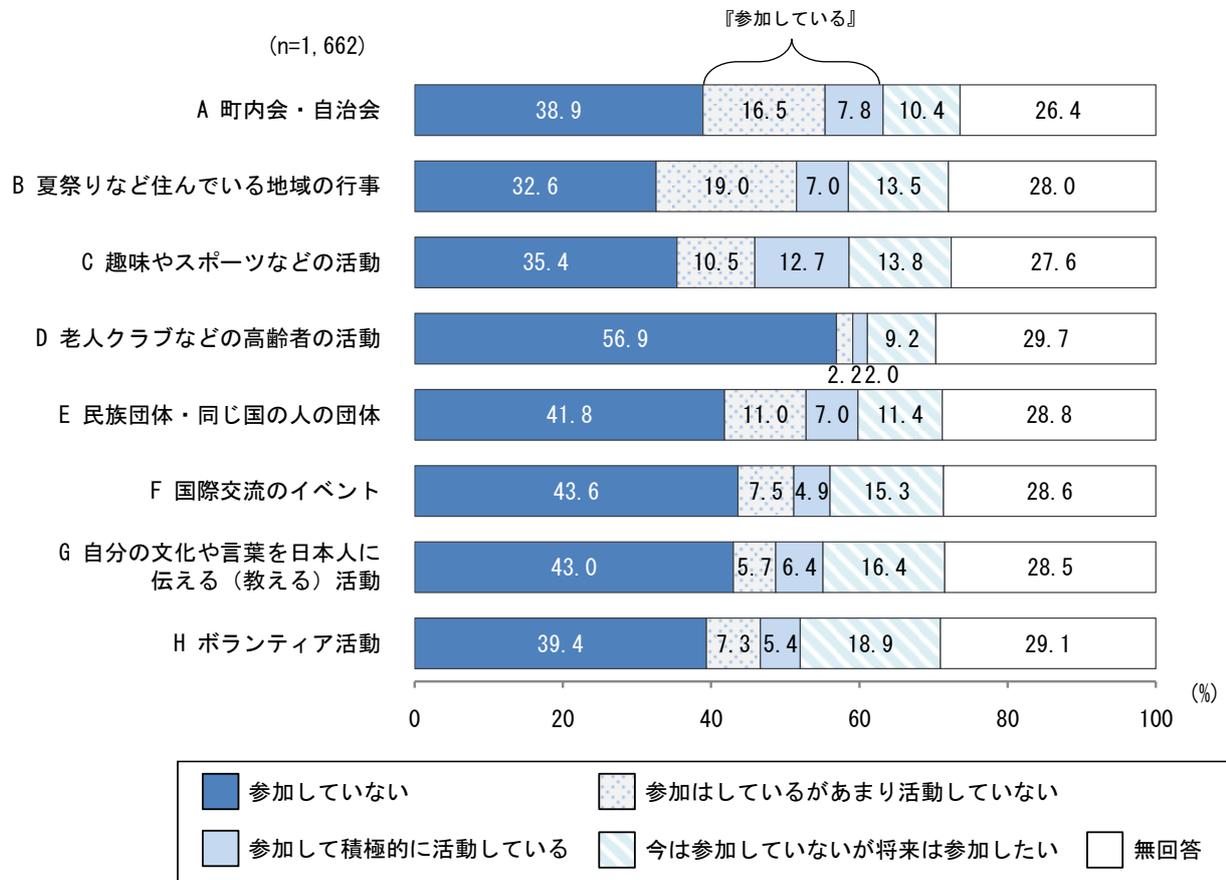
日本人との付き合い方については、「あいさつをする人がいる」が 66.3%と最も多く、次いで「軽い内容の話をする人がいる」(50.7%)、「困ったとき相談しあう人がいる」(34.0%)、「遊んだり買い物に行く人がいる」(30.1%)、「お互いの家に行く人がいる」(26.2%)と続く。

問 22 日本人と付き合うことについて、難しいと思うことがありますか。



日本人との付き合いで難しいと思うことについては、「難しいと思うことはない」が 34.1%と最も多く、次いで「言葉が通じない」(22.8%)、「文化や習慣が違う」(21.6%)、「日本人との人間関係の作り方がわからない」(15.4%)、「日本人と共通の話題が少ない」(14.1%)と続く。

問 23 あなたはA～Hの活動にどのように参加していますか。下の1～4からあてはまるものを選んで、それぞれ1つ〇をしてください。

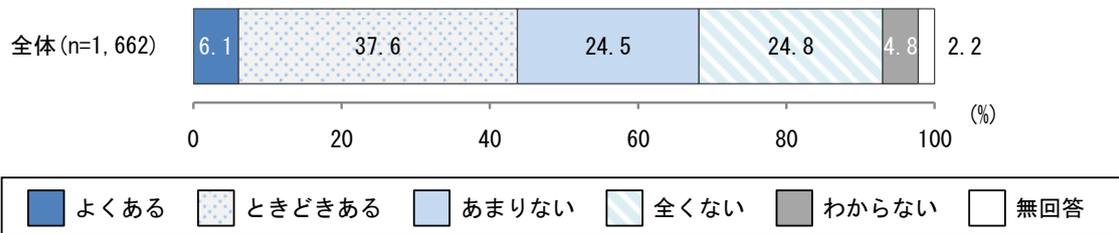


行事・活動については、『参加している』（「参加しているがあまり活動していない」と「参加して積極的に活動している」の合計）は「夏祭りなど住んでいる地域の行事」が26.0%と最も多く、次いで「町内会・自治会」（24.3%）、「趣味やスポーツなどの活動」（23.2%）と続く。「老人クラブなど高齢者の活動」は4.2%と少ない。

また、「今は参加していないが将来は参加したい」は、「ボランティア活動」が18.9%と最も多く、次いで「自分の文化や言葉を日本人に伝える（教える）活動」（16.4%）、「国際交流のイベント」（15.3%）と続く。

(5) 嫌な思いをした経験【問 17～問 18】

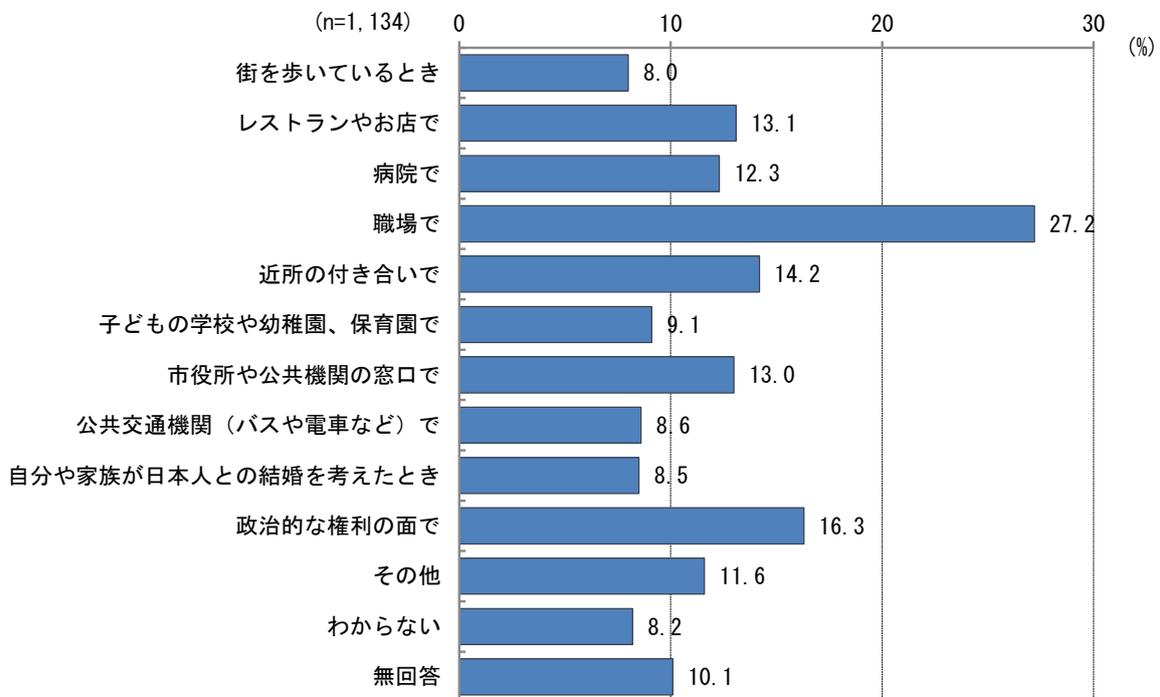
問 17 あなたはいつもの生活の中で、外国人だからという理由で嫌な思いをすることがありますか。



嫌な思いをした経験については、「よくある」が 6.1%、「ときどきある」が 37.6%、「あまりない」が 24.5%、「全くない」が 24.8%、「わからない」が 4.8%となっている。

■問 17 で 1～3 に○をした人（嫌な思いをしたことがある人）に聞きます。

問 18 外国人だからという理由で嫌な思いをしたのはどういうときでしたか。



嫌な思いをした場面については、「職場で」が 27.2%と最も多く、次いで「政治的な権利の面で」(16.3%)、「近所の付き合いで」(14.2%)、「レストランやお店で」(13.1%)、「市役所や公共機関の窓口で」(13.0%)、「病院で」(12.3%)と続く。

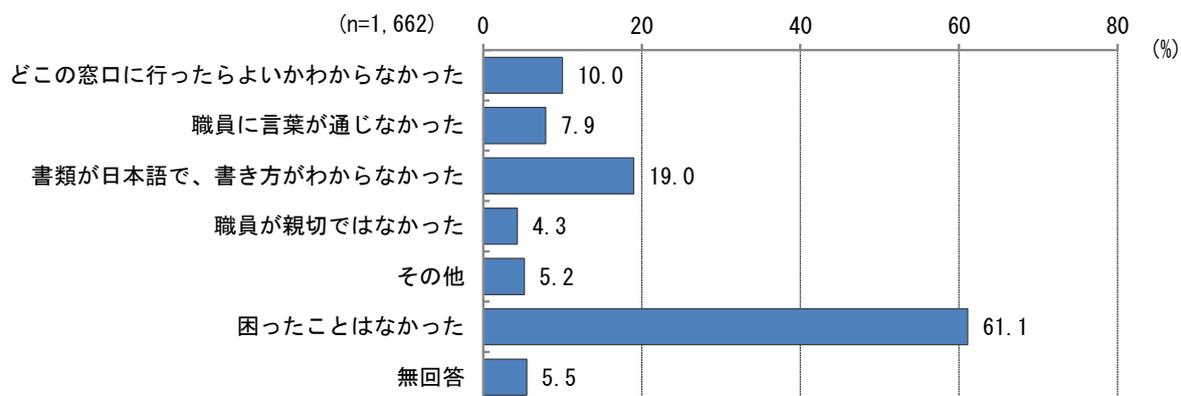
問 18-1 そのとき、どういうことがあったか書いてください。

※複数の内容を含む意見があるため、意見総数と内容別件数は一致しない。また、主な意見は多い順に掲載している。

	主な意見
子どもの学校や 幼稚園、保育園で (87 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語(会話、読み書き)がわからなくて困った、困っている。 ・避けられる、話しかけてもらえない、交流がない。 ・差別的なことを言われたり、差別を感じる。
職場で (49 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・不愛想、威圧的、見下した態度や嫌がらせをされた。 ・差別的なことを言われたり、差別を感じる。 ・日本語(会話、読み書き)がわからなくて困った、困っている。 ・自国や外国人に対して批判された。 ・国籍を理由に就職やアルバイトを断られたり面接で嫌な態度をされた。
レストランやお店で (45 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスや店の利用を断られたり、説明などが少ない。 ・日本語(会話、読み書き)がわからなくて困った、困っている。 ・無視された。 ・不愛想、威圧的、見下した態度や嫌がらせをされた。 ・じろじろ見られる。
市役所や公共機関の 窓口で (43 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語(会話、読み書き)がわからなくて困った、困っている。 ・不愛想、威圧的、見下した態度や嫌がらせをされた。 ・差別的なことを言われたり、差別を感じる。 ・日本語がわからないとき、誤解を受けたり嫌な顔をされたり侮辱された。 ・通称名を使えない、本名を呼ばれる。
病院で (42 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語(会話、読み書き)がわからなくて困った、困っている。 ・医療サービスに対する詳しい説明などが少ない。 ・差別的なことを言われたり、差別を感じる。 ・じろじろ見られる。 ・不愛想、威圧的、見下した態度や嫌がらせをされた。
近所の付き合いで (30 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・不愛想、威圧的、見下した態度や嫌がらせをされた。 ・差別的なことを言われたり、差別を感じる。 ・避けられる、話しかけてもらえない、交流がない。 ・理不尽な苦情や嫌がらせを受けた。 ・無視された。
その他 (29 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋を貸してもらえない、契約の条件が難しい。 ・SNS で母国への差別的コメントや街でそのような団体を見かけた。 ・外国人というだけで疑われたり、警察官に質問されたりする。 ・特別永住者証明書、在留カードの提示を求められた。

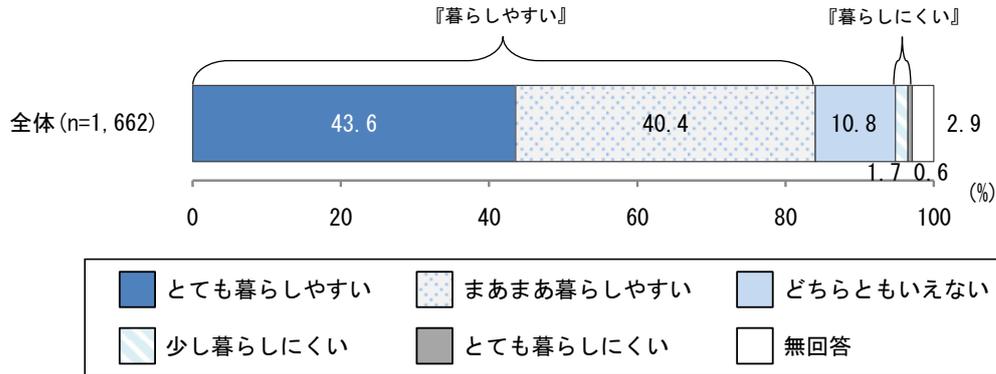
(6) 広島市での暮らし【問 25～問 27】

問 25 あなたは、市役所や区役所などに行って困ったことはありますか。



市役所や区役所で困ったことについては、「困ったことはなかった」が61.1%と最も多く、次いで「書類が日本語で、書き方がわからなかった」(19.0%)、「どこの窓口に行ったらよいかわからなかった」(10.0%)、「職員に言葉が通じなかった」(7.9%)と続く。

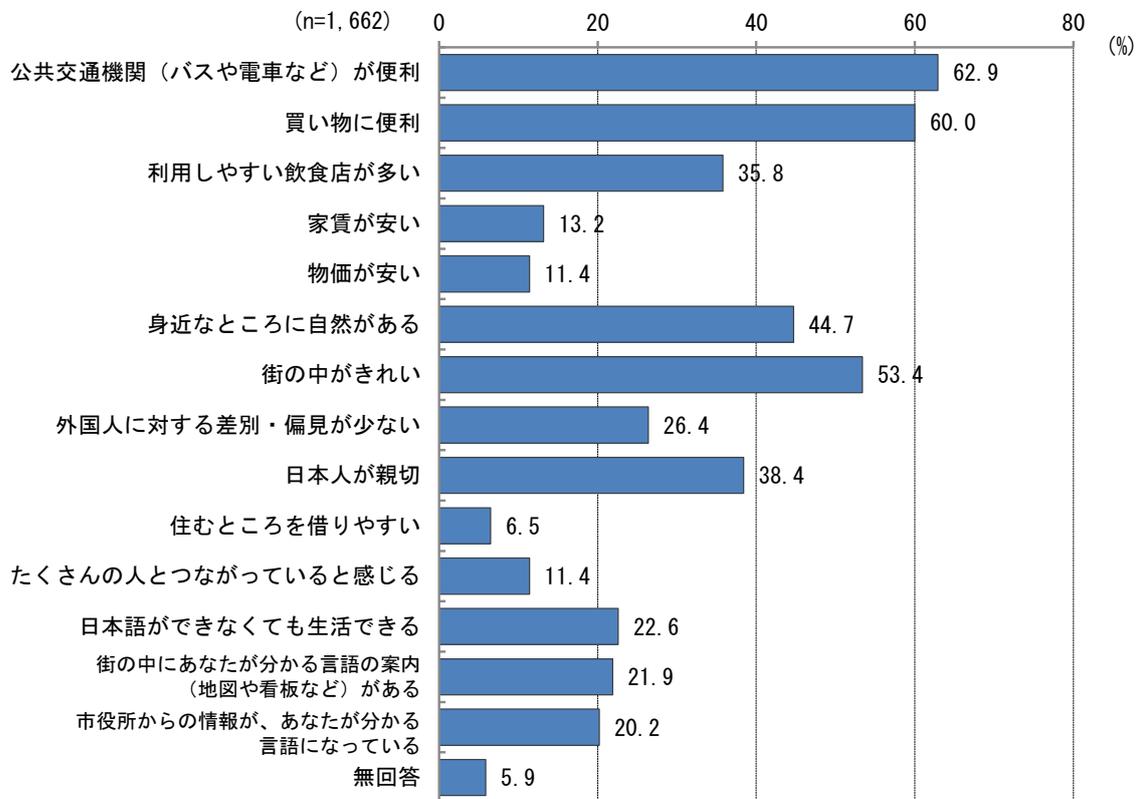
問 26 広島市は、暮らしやすいまちだと思いますか。



広島市の暮らしやすさについては、『暮らしやすい』（「とても暮らしやすい」と「まあまあ暮らしやすい」の合計）は84.0%となっている。

『暮らしにくい』（「とても暮らしにくい」と「少し暮らしにくい」の合計）は2.3%となっている。

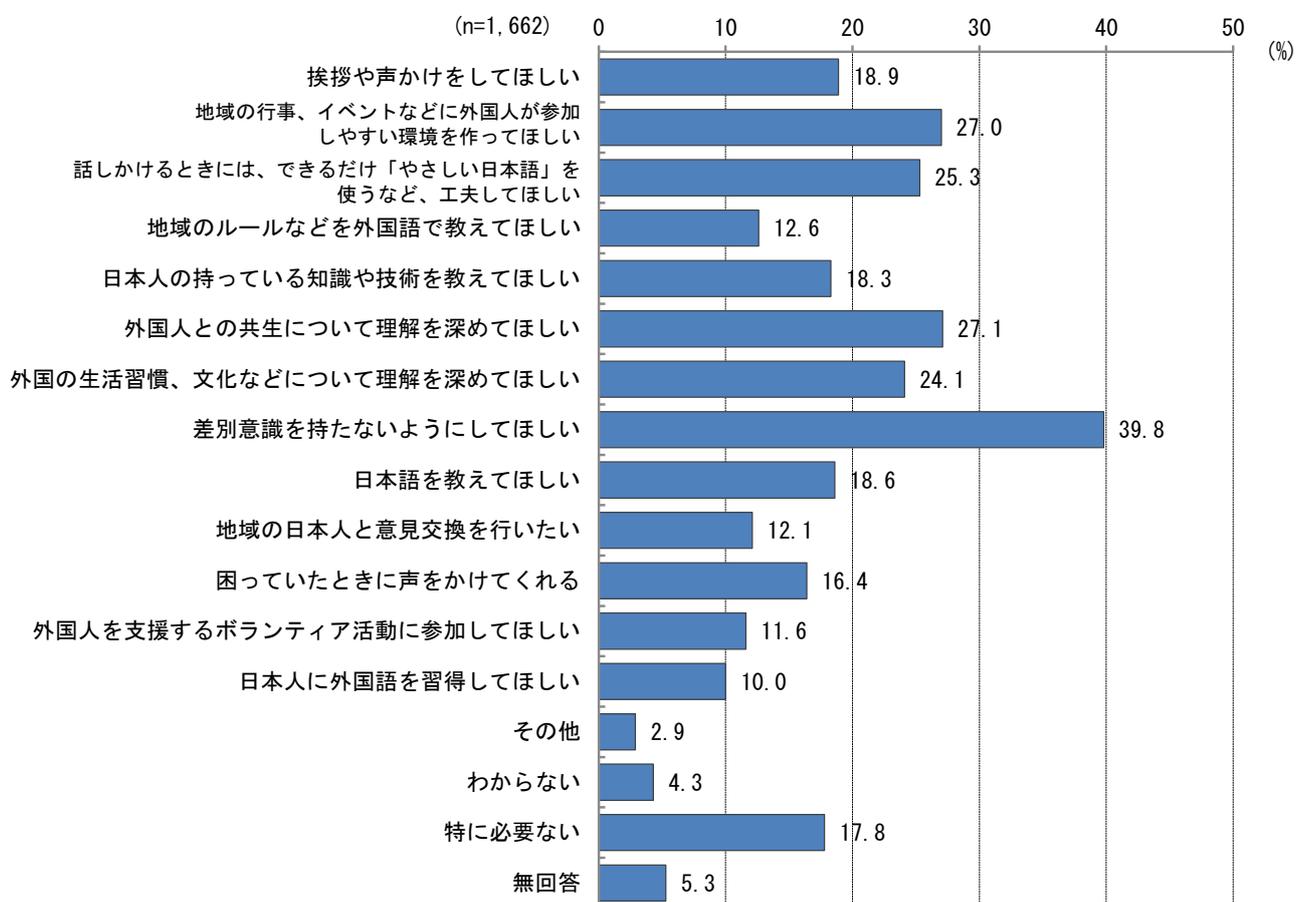
問 27 広島市での暮らしについてどう思いますか。



広島市での暮らしへの印象は、「公共交通機関（バスや電車など）が便利」が62.9%と最も多く、次いで「買い物に便利」（60.0%）、「街の中がきれい」（53.4%）、「身近なところに自然がある」（44.7%）、「日本人が親切」（38.4%）、「利用しやすい飲食店が多い」（35.8%）と続く。

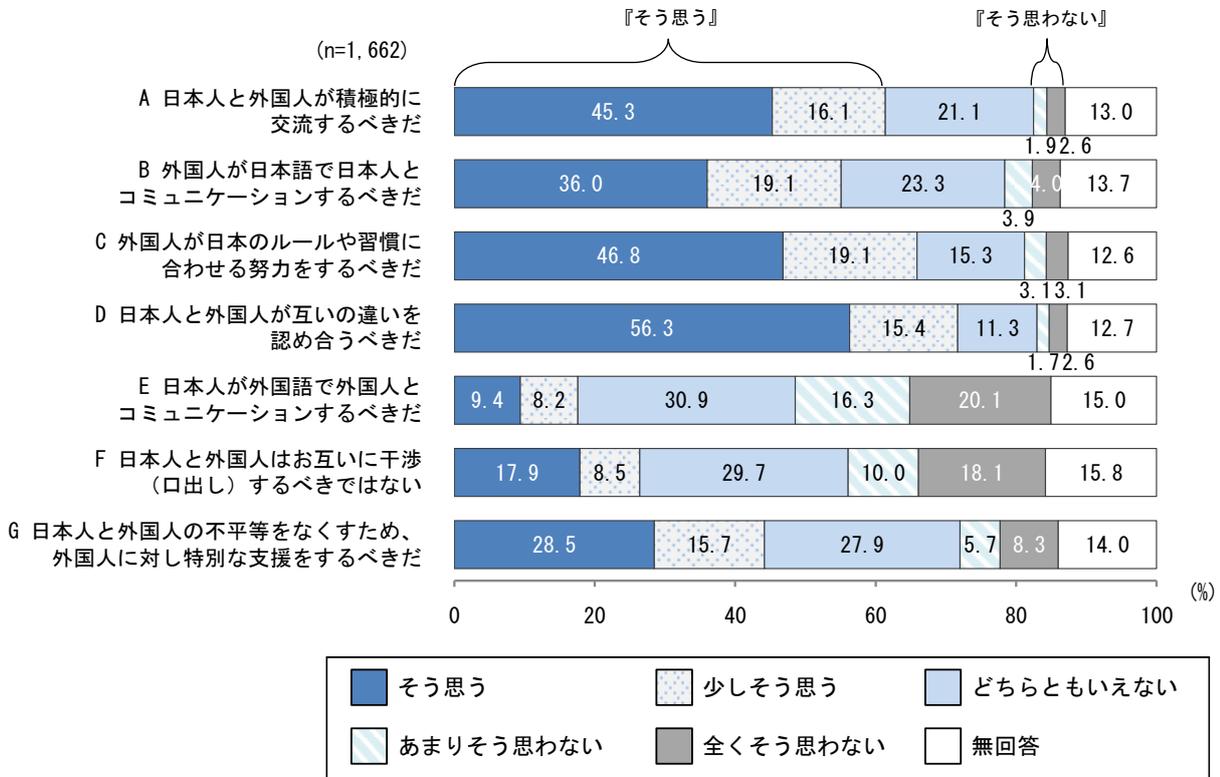
(7) 日本人との関わり方【問 24、問 28】

問 24 あなたが広島市で生活していく中で、日本人にしてほしいことはありますか。



生活していく中で日本人にしてほしいことについては、「差別意識を持たないようにしてほしい」が 39.8%と最も多く、次いで「外国人との共生について理解を深めてほしい」(27.1%)、「地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作ってほしい」(27.0%)、「話しかけるとときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫してほしい」(25.3%)、「外国の生活習慣、文化などについて理解を深めてほしい」(24.1%)と続く。

問 28 外国人が増える中で、外国人と日本人はどのように関わるべきだと思いますか。
次の 1～5 からあなたの考えに近いものを選んで、それぞれ 1 つ〇をしてください。



外国人と日本人の関わり方については、『そう思う』(「そう思う」と「少しそう思う」の合計)は、「日本人と外国人が互いの違いを認め合うべきだ」が 71.7%と最も多く、次いで「外国人が日本のルールや習慣に合わせる努力をするべきだ」(65.9%)と続く。

『そう思わない』(「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は、「日本人が外国語で外国人とコミュニケーションするべきだ」が 36.4%と最も多く、次いで「日本人と外国人はお互いに干渉(口出し)するべきではない」(28.1%)と続く。

(8) 自由意見【問 29】

問 29 あなたが広島市や暮らしについて、もっと書きたいことがあればこちらに書いてください。

※複数の内容を含む意見があるため、意見総数と内容別件数は一致しない。また、主な意見は多い順に掲載している。

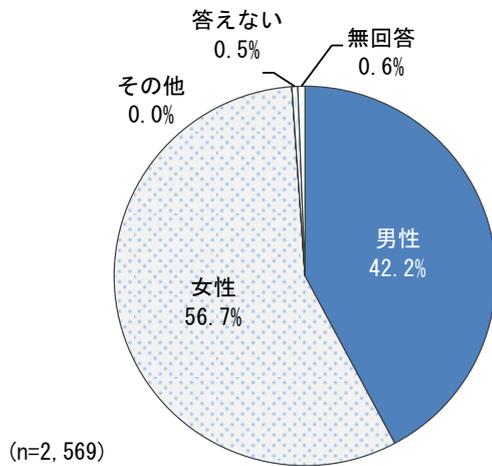
「まちと環境について」の意見が 122 件と最も多く、次いで「人との交流・共生等について」(112 件)、「市政・公共サービスについて」(110 件)と続く。

	主な意見
まちと環境について (122 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・広島が好き、楽しい。 ・広島市は住みやすい、住み続けたい。 ・環境が良い、災害が少ない。 ・交通が不便、運賃が高い。 ・外国語で表記された看板や案内が少ない。
人との交流・共生等について(112 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、広島的人是親切、礼儀正しい。 ・日本、広島で暮らせてよかった。 ・日本の法律や生活ルール、習慣を守るべきである。 ・日本人として暮らしている。 ・日本人、広島に感謝している。
市政・公共サービスについて(110 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会や外国人が参加しやすいイベントをしてほしい。 ・必要な情報がどこにあるかわかりやすくしてほしい。 ・無料の日本語教室で勉強したい。 ・外国人に対する生活支援等を充実させてほしい。 ・市のサポートに感謝している、職員が親切である。
人権について (51 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・差別や偏見を感じる。 ・外国人に選挙権を与えて欲しい。 ・差別をあまり感じなくなった。 ・外国人の立場の向上、日本人と同等の権利を与えて欲しい。 ・外国人の義務と権利について知りたい。
生活について (51 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・住居探しや契約手続きが難しい。 ・住民税等の税金が高い。 ・物価、家賃が高い。 ・病院や医療において言葉でのコミュニケーションが難しい。
雇用や労働について (34 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の労働環境や制度を改善してほしい。 ・外国人の雇用や就労機会を増やしてほしい。 ・技能実習制度の見直しをしてほしい。
子どもについて (13 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の子どもに配慮してほしい。 ・保育所の入所状況を改善してほしい。 ・子どもが行ける公共施設(公園、博物館等)が少ない。

2 日本人市民を対象とした調査結果及び分析

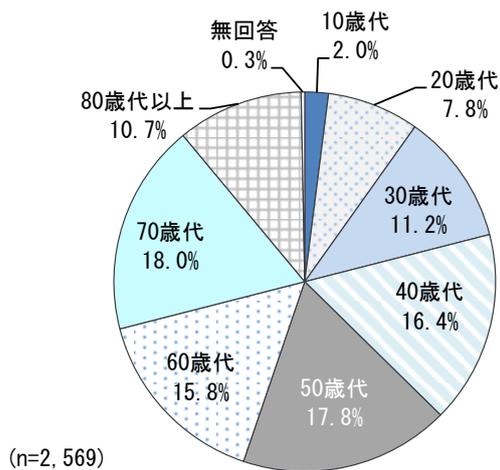
(1) 回答者の属性【問1～問5】

問1 性別



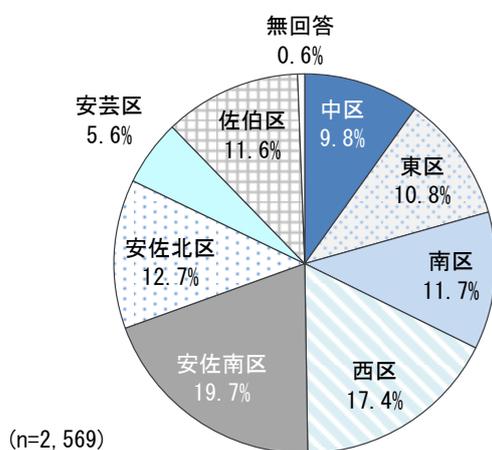
	回答数	(%)
男性	1084	42.2
女性	1457	56.7
その他	-	-
答えない	12	0.5
無回答	16	0.6
合計	2,569	100.0

問2 年代



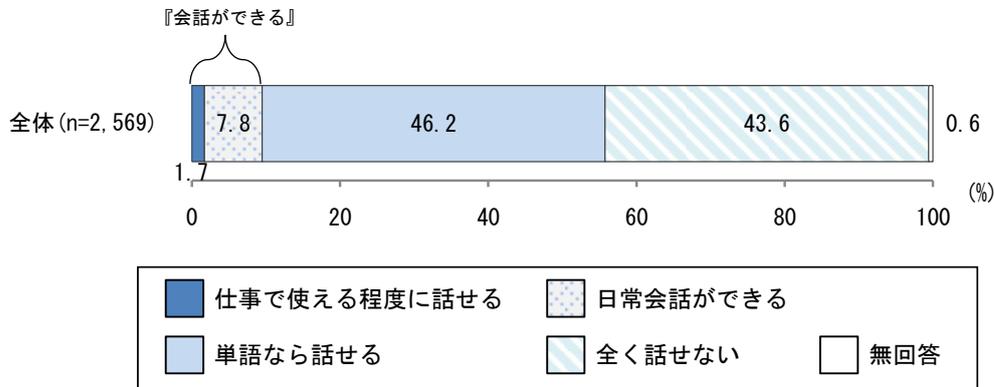
	回答数	(%)
10歳代	51	2.0
20歳代	201	7.8
30歳代	288	11.2
40歳代	421	16.4
50歳代	457	17.8
60歳代	405	15.8
70歳代	463	18.0
80歳代以上	275	10.7
無回答	8	0.3
合計	2,569	100.0

問3 居住地区



	回答数	(%)
中区	253	9.8
東区	277	10.8
南区	301	11.7
西区	448	17.4
安佐南区	505	19.7
安佐北区	326	12.7
安芸区	145	5.6
佐伯区	298	11.6
無回答	16	0.6
合計	2,569	100.0

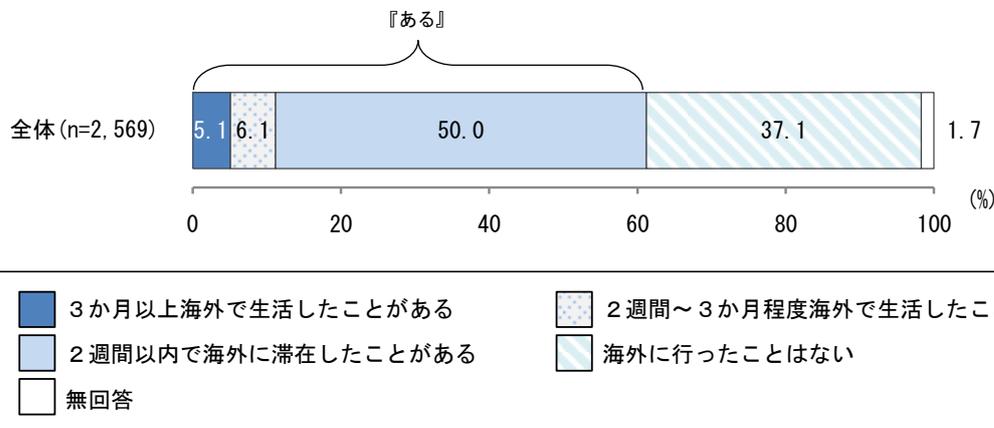
問4 あなたは、外国語を話すことができますか。



外国語を話すことについては、『会話ができる』（「仕事で使える程度に話せる」と「日常会話ができる」の合計）は9.5%となっている。

「単語なら話せる」が46.2%と最も多く、次いで「全く話せない」（43.6%）となっている。

問5 あなたは、旅行や留学、仕事のために海外に行ったことがありますか。



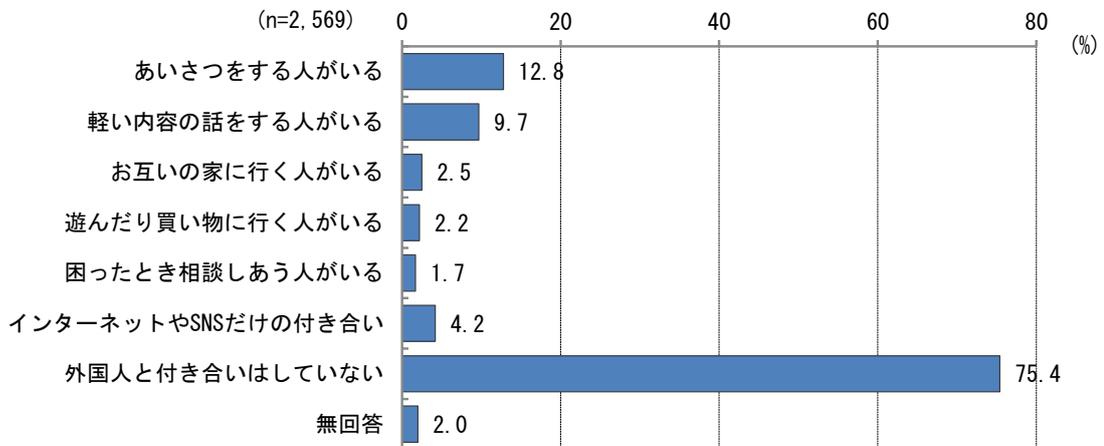
海外への渡航経験については、『ある』（「3か月以上海外で生活したことがある」と「2週間～3か月程度海外で生活したことがある」と「2週間以内で海外に滞在したことがある」の合計）が61.2%となっている。

また、渡航経験がある人の中では「2週間以内で海外に滞在したことがある」が50.0%と最も多くなっている。

「海外に行ったことはない」は37.1%となっている。

(2) 外国人との交流状況【問6～問8】

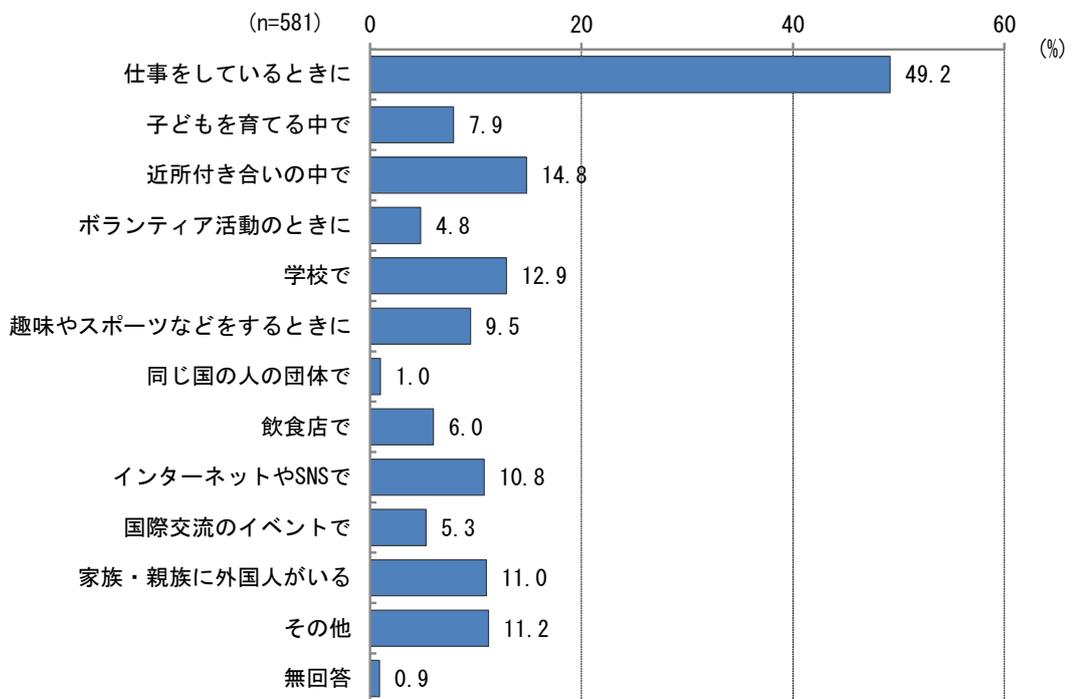
問6 外国人との付き合いはありますか。



外国人との付き合いについては、「外国人と付き合いはしていない」が75.4%と最も多く、次いで「あいさつをする人がいる」(12.8%)、「軽い内容の話をする人がいる」(9.7%)、「インターネットやSNSだけの付き合い」(4.2%)と続く。

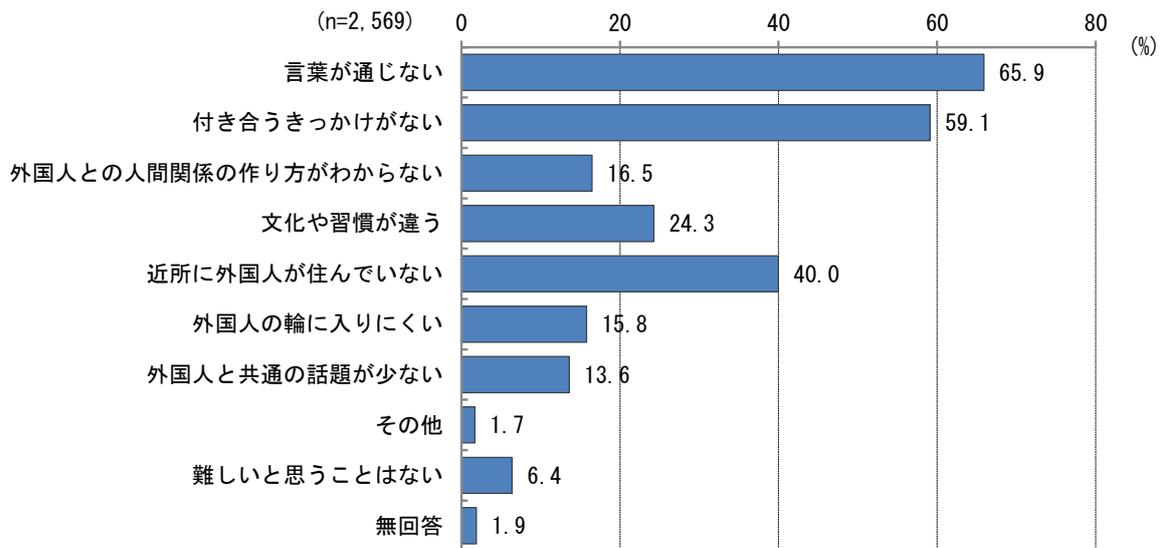
■問6で1～6と回答した方（外国人と付き合いがある方）におたずねします。

問7 外国人とどうやって知り合いましたか。



外国人と知り合ったきっかけについては、「仕事をしているときに」が49.2%と最も多く、次いで「近所付き合いの中で」(14.8%)、「学校で」(12.9%)、「家族・親族に外国人がいる」(11.0%)、「インターネットやSNSで」(10.8%)と続く。

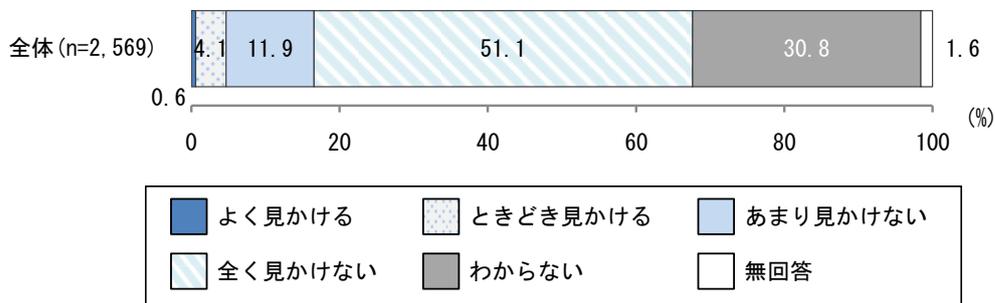
問8 外国人と付き合うことについて、難しいと思うことがありますか。



外国人との付き合いが難しいと思うことについては、「言葉が通じない」が65.9%と最も多く、次いで「付き合うきっかけがない」(59.1%)、「近所に外国人が住んでいない」(40.0%)と続く。

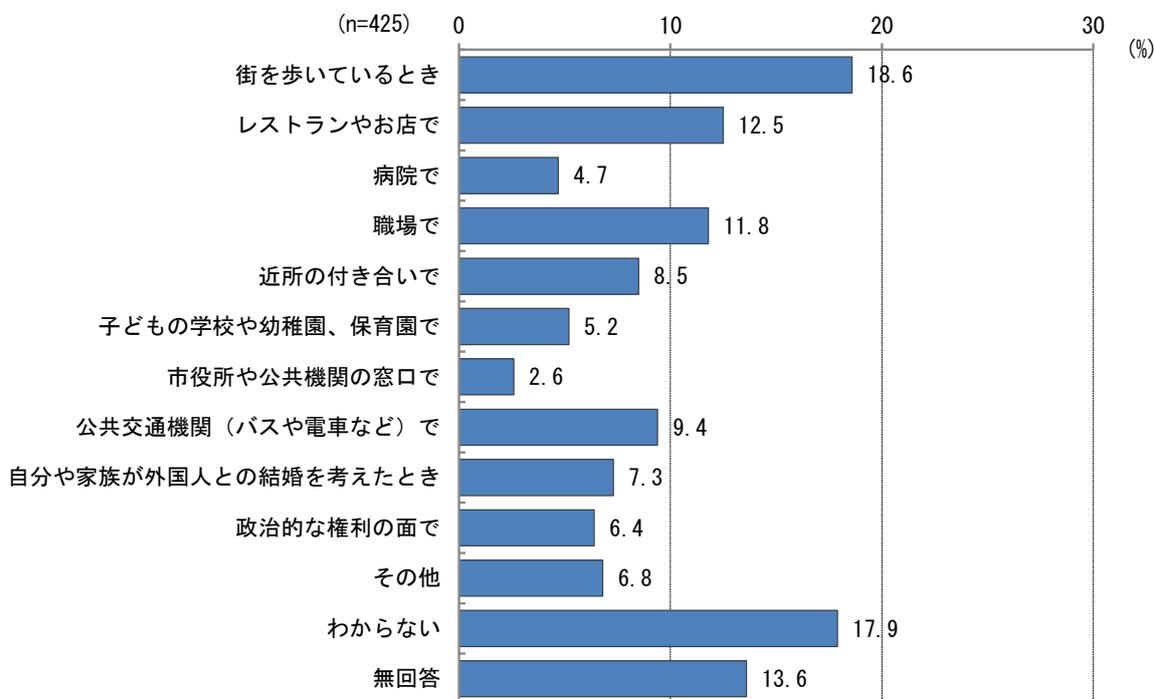
(3) 外国人に対する差別的な扱いを見た経験【問13～問14】

問13 あなたは、外国人に対する差別的な扱いを、広島市内で見かけたことがありますか。



外国人に対する差別的な扱いを見かける経験については、「よく見かける」が0.6%、「ときどき見かける」が4.1%、「あまり見かけない」が11.9%、「全く見かけない」が51.1%、「わからない」が30.8%となっている。

■問13で、1～3と回答した方におたずねします。
問14 あなたが見かけた外国人に対する差別的な扱いは、どんな状況で行われたものですか。



外国人に対する差別的な扱いが行われた状況については、「街を歩いているとき」が18.6%と最も多く、次いで「レストランやお店で」(12.5%)、「職場で」(11.8%)と続く。

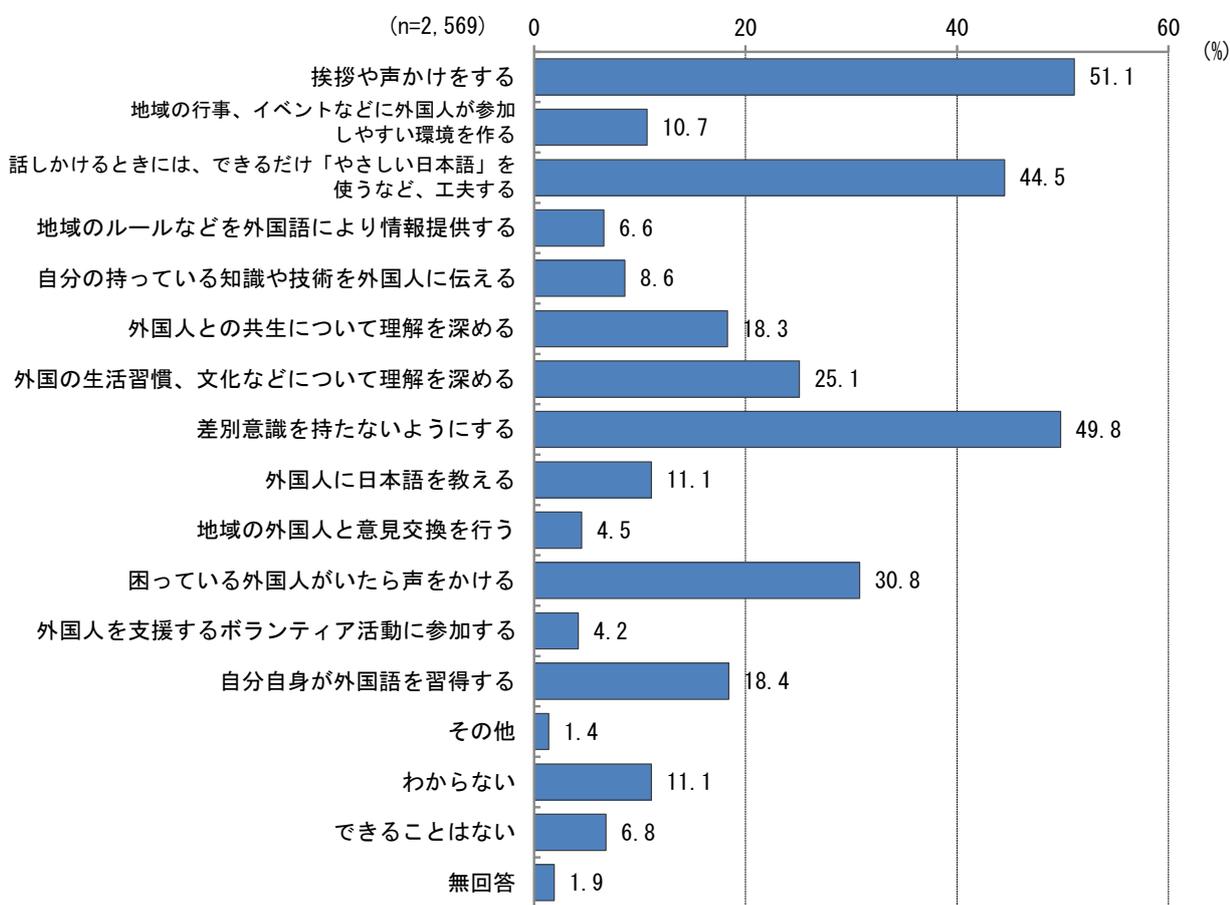
問 14-1 そのとき、どういうことがあったか書いてください。

※複数の内容を含む意見があるため、意見総数と内容別件数は一致しない。また、主な意見は多い順に掲載している。

	主な意見
街を歩いているとき (26 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人を怖がって避ける、近寄らないようにする。 ・じろじろ見る。 ・外国人が困っている様子でも無視する。 ・臭いと言って指をさす。 ・見ながらその人について話をする。
レストランやお店で (21 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人店員へ威圧的態度や嫌がらせをする。 ・予約や入店、サービスの利用を断る。 ・外国人店員の挨拶を無視する、そばに寄らない。 ・経営者側が、外国人従業員に不当に厳しい態度をとる。 ・外国人店員の接客を拒否する、避ける。
職場で (17 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・地位や待遇などで不当な評価や扱いをする。 ・外国人が困っている様子でも無視する。 ・差別的な悪口や噂話をする。 ・手続きが面倒なので外国人の採用を断る。 ・皆が面倒だと思う仕事をさせる。
公共交通機関 (バスや電車など)で (10 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が外国人に威圧的または冷たい対応をする。 ・他の乗客が外国人を避ける、近くに座らない。 ・外国人が困っている様子でも無視する。 ・言葉が通じないことに怒ったり苛立ったりする。

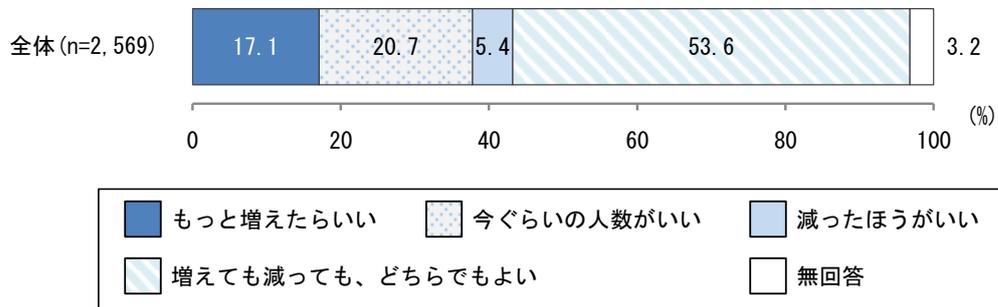
(4) 外国人との関わり方【問9～問12、問15～問16】

問9 あなたが広島市で生活していく中で、外国人に対してできることがありますか。



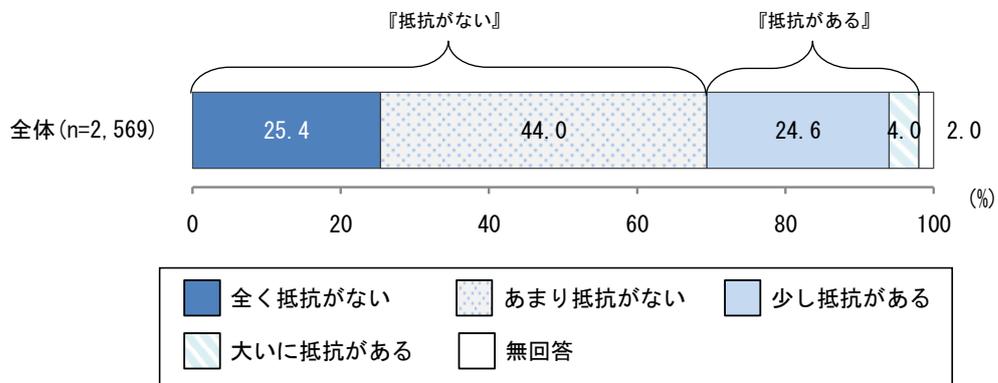
外国人に対してできることについては、「挨拶や声かけをする」が51.1%と最も多く、次いで「差別意識を持たないようにする」(49.8%)、「話しかけるときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫する」(44.5%)、「困っている外国人がいたら声をかける」(30.8%)と続く。

問10 広島市で外国人が増えることについてどう思いますか。



外国人が増えることをどう思うかについては、「増えても減っても、どちらでもよい」が53.6%と最も多く、次いで「今ぐらいの人数がいい」(20.7%)、「もっと増えたらいい」(17.1%)、「減ったほうがいい」(5.4%)となっている。

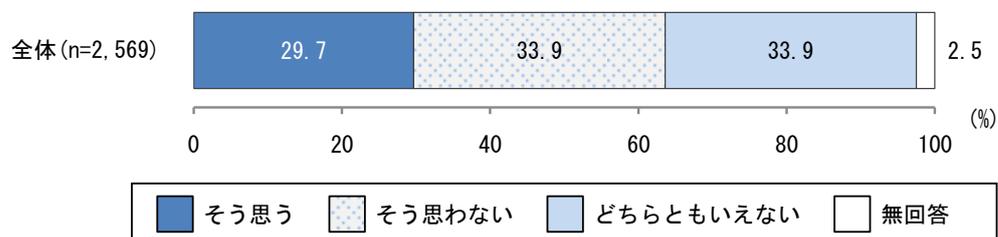
問11 自分の住まいの近くに外国人が住むことについてどう思いますか。



自分の住まいの近くに外国人が住むことについては、『抵抗がない』(「全く抵抗がない」と「あまり抵抗がない」の合計)が69.4%となっている。

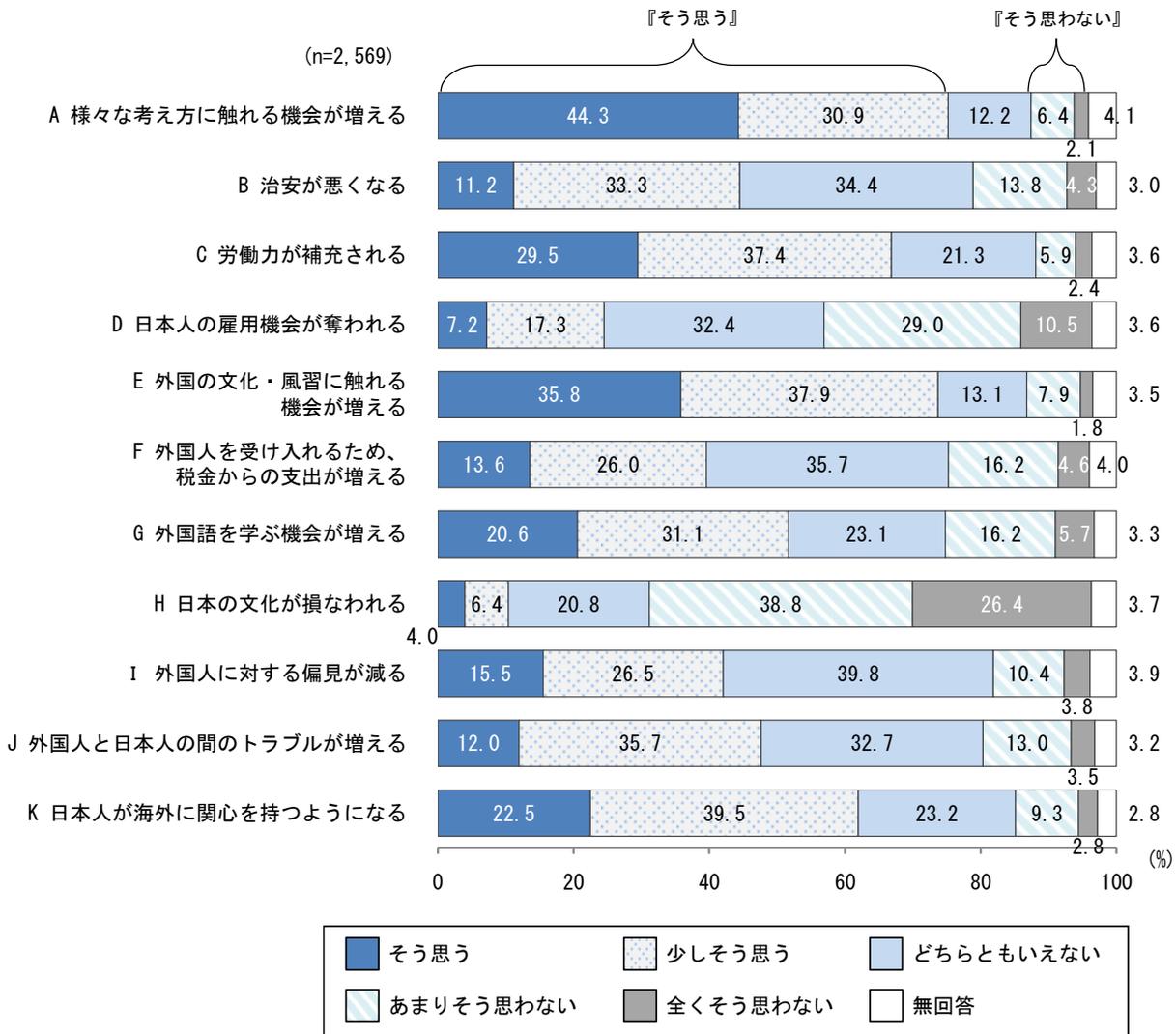
『抵抗がある』(「大いに抵抗がある」と「少し抵抗がある」の合計)は、28.6%となっている。

問12 「同じ地域で外国人と共に暮らす」ことが身近になってきていると感じますか。



「同じ地域で外国人と共に暮らす」ことが身近になってきていると感じるかについては、「そう思う」が29.7%、「そう思わない」が33.9%、「どちらともいえない」も33.9%となっている。

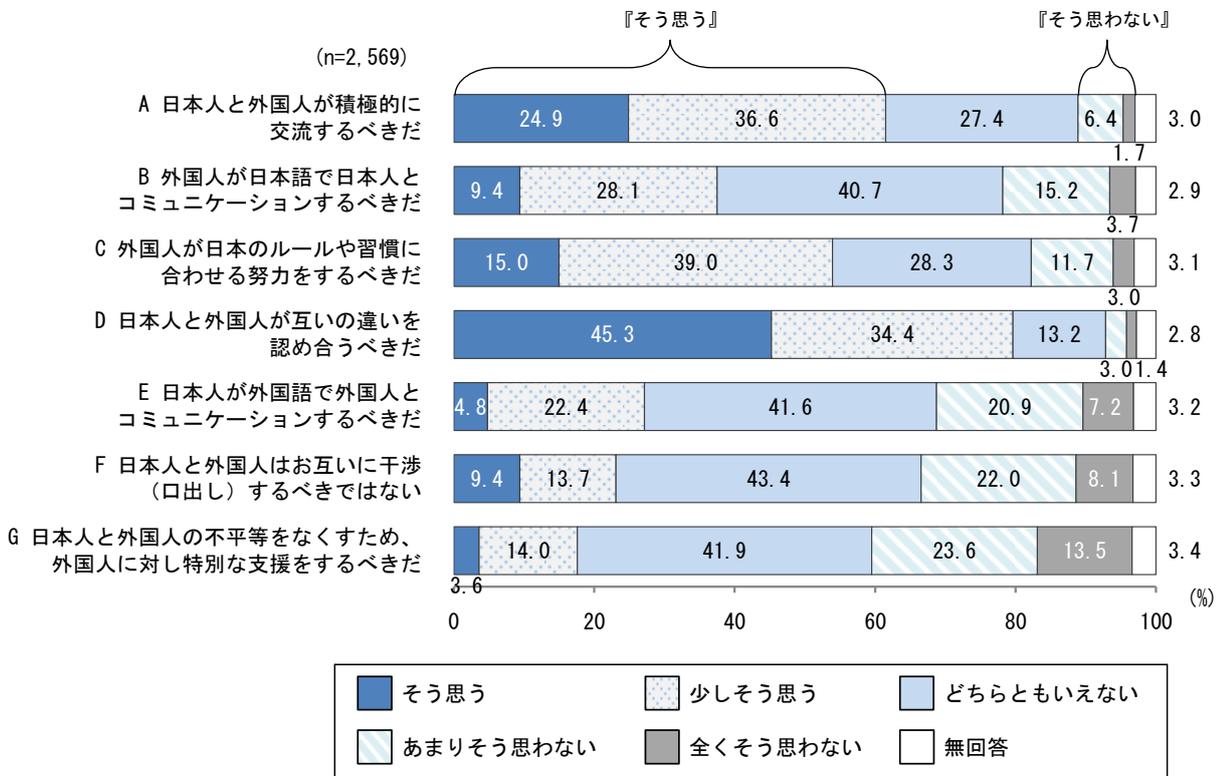
問 15 外国人が増えると、どのような影響があると思いますか。次の1～5からあなたの考えに近いものを選んで、それぞれ1つ〇をしてください。



外国人が増えることによる影響については、『そう思う』（「そう思う」と「少しそう思う」の合計）は、「様々な考え方に触れる機会が増える」が75.2%と最も多く、次いで「外国の文化・風習に触れる機会が増える」（73.7%）、「労働力が補充される」（66.9%）と続く。

『そう思わない』（「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は、「日本の文化が損なわれる」が65.2%と最も多く、次いで「日本人の雇用機会が奪われる」（39.5%）、「外国語を学ぶ機会が増える」（21.9%）と続く。

問 16 外国人が増える中で、外国人と日本人はどのように関わるべきだと思いますか。
 次の 1～5 からあなたの考えに近いものを選んで、それぞれ 1 つ ○ をしてください。



外国人と日本人の関わり方については、『そう思う』(「そう思う」と「少しそう思う」の合計)は、「日本人と外国人が互いの違いを認め合うべきだ」が 79.7% と最も多く、次いで「日本人と外国人が積極的に交流するべきだ」(61.5%) となっている。

『そう思わない』(「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は、「日本人と外国人の不平等をなくすため、外国人に対し特別な支援をするべきだ」が 37.1% と最も多く、次いで「日本人と外国人はお互いに干渉(口出し)するべきではない」(30.1%) と続く。

(5) 自由意見【問17】

問17 この調査で回答したことについて、補足したいことがあればこちらにお書きください。

※複数の内容を含む意見があるため、意見総数と内容別件数は一致しない。また、主な意見は多い順に掲載している。

「共生に向けての地域や市民の意識について」の意見が233件と最も多く、次いで「共生の課題について」(196件)、「外国人市民への支援について」(74件)と続く。

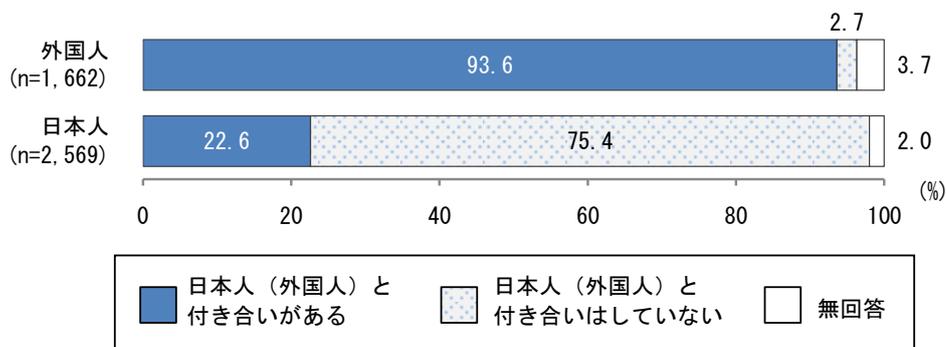
	主な意見
共生に向けての地域や市民の意識について (233件)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人と共生する必要がある。 ・外国人との交流機会を増やすべきである。 ・相互の理解が必要である。 ・日本人は外国人を理解し、偏見をなくしていくべきである。 ・外国の文化や言語の学習が必要である。
共生の課題について (196件)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の規則やモラルについて、外国人の理解が不足している。 ・外国人が増えることに不安や不満がある。 ・日本の文化や日本語について、外国人の理解が不足している。 ・言語の壁により意思疎通がうまくいかない。 ・互いに接点や情報が少ない。
外国人市民への支援について(74件)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の労働環境や制度を改善するべきである。 ・外国人へ日本のルールやマナーを伝えるべきである。 ・公的機関や医療機関等での言語支援が必要である。 ・外国人への日本語教育支援が必要である。 ・外国人向け相談窓口の認知度向上が必要である。
外国人市民が増加することに対する期待 (22件)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減対策になる。 ・経済効果がある。 ・文化的刺激等がある。
その他 (53件)	<ul style="list-style-type: none"> ・国柄や個々の性質によって異なるため、外国人と一括りで考えるべきではない。

3 外国人市民と日本人市民の調査結果の比較及び分析

今回の調査では、外国人市民と日本人市民の双方に対し、交流状況や多文化共生への考え方などについて同じ質問をしており、その結果を比較した。

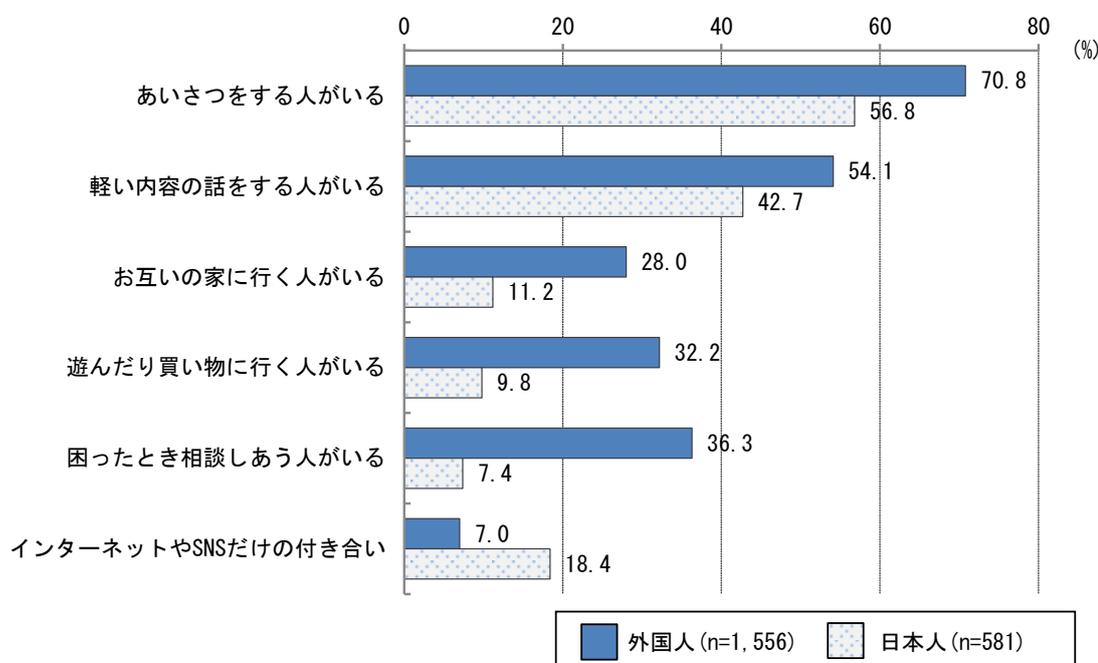
(1) 交流状況や多文化共生への考え方

① 日本人（外国人）との付き合い方（外国人市民調査：問 21/日本人市民調査：問 6）



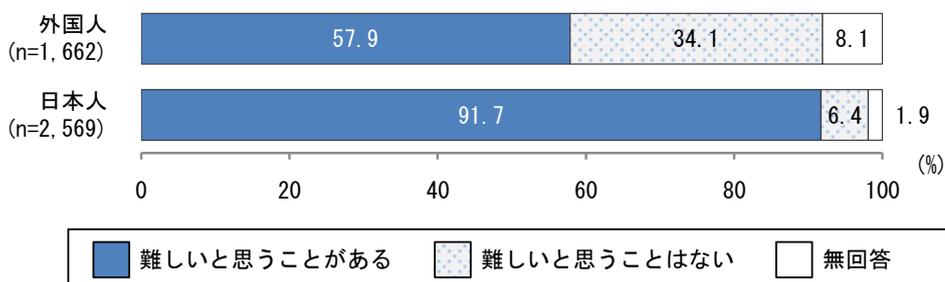
日本人と外国人の互いの付き合いについては、「付き合いがある」は外国人市民が 93.6%となっており、日本人市民（22.6%）を 71.0 ポイント上回っている。

【日本人と外国人の互いの付き合い方】



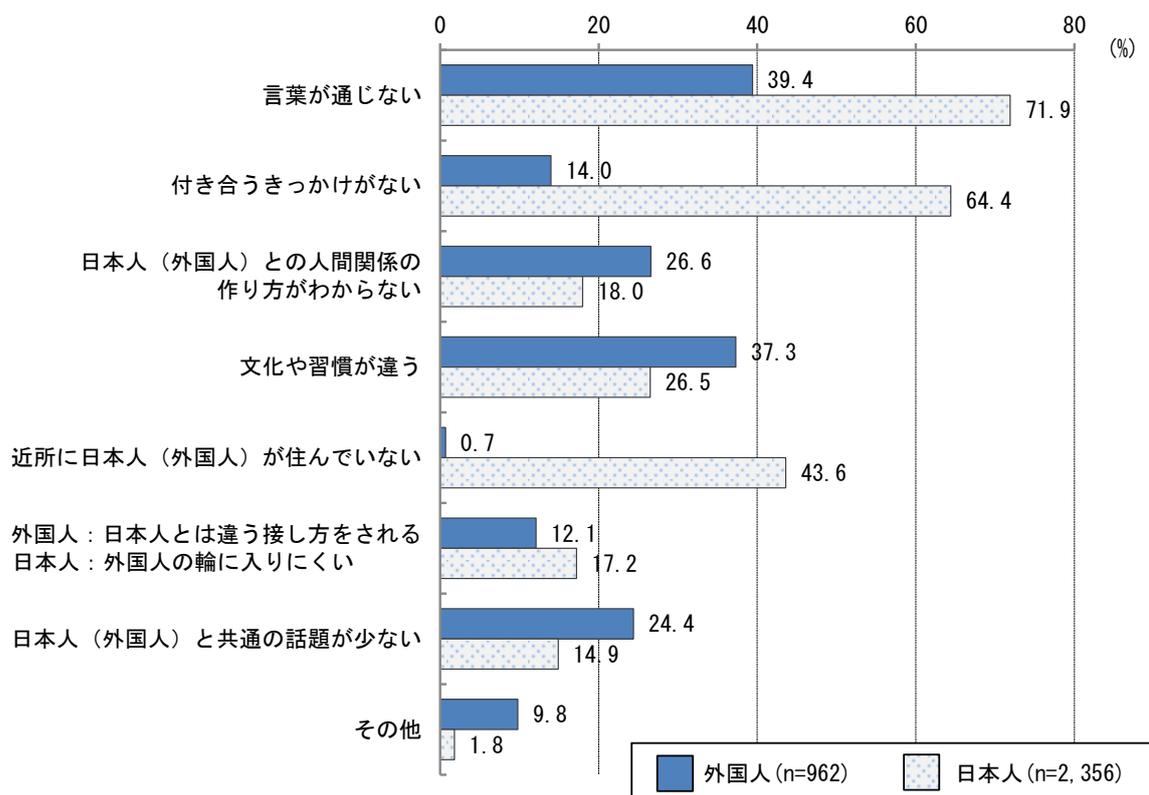
付き合いがある人では、ほぼすべての選択肢において外国人市民が日本人市民を上回っており、「遊んだり買い物に行く人がいる」、「困ったとき相談しあう人がいる」は外国人市民が日本人市民を 20.0 ポイント以上上回っている。「インターネットやSNSだけの付き合い」は日本人市民(18.4%)が外国人市民(7.0%)を 11.4 ポイント上回っている。

② 日本人（外国人）との付き合いで難しいと思うこと（外国人市民調査：問 22/日本人市民調査：問 8）



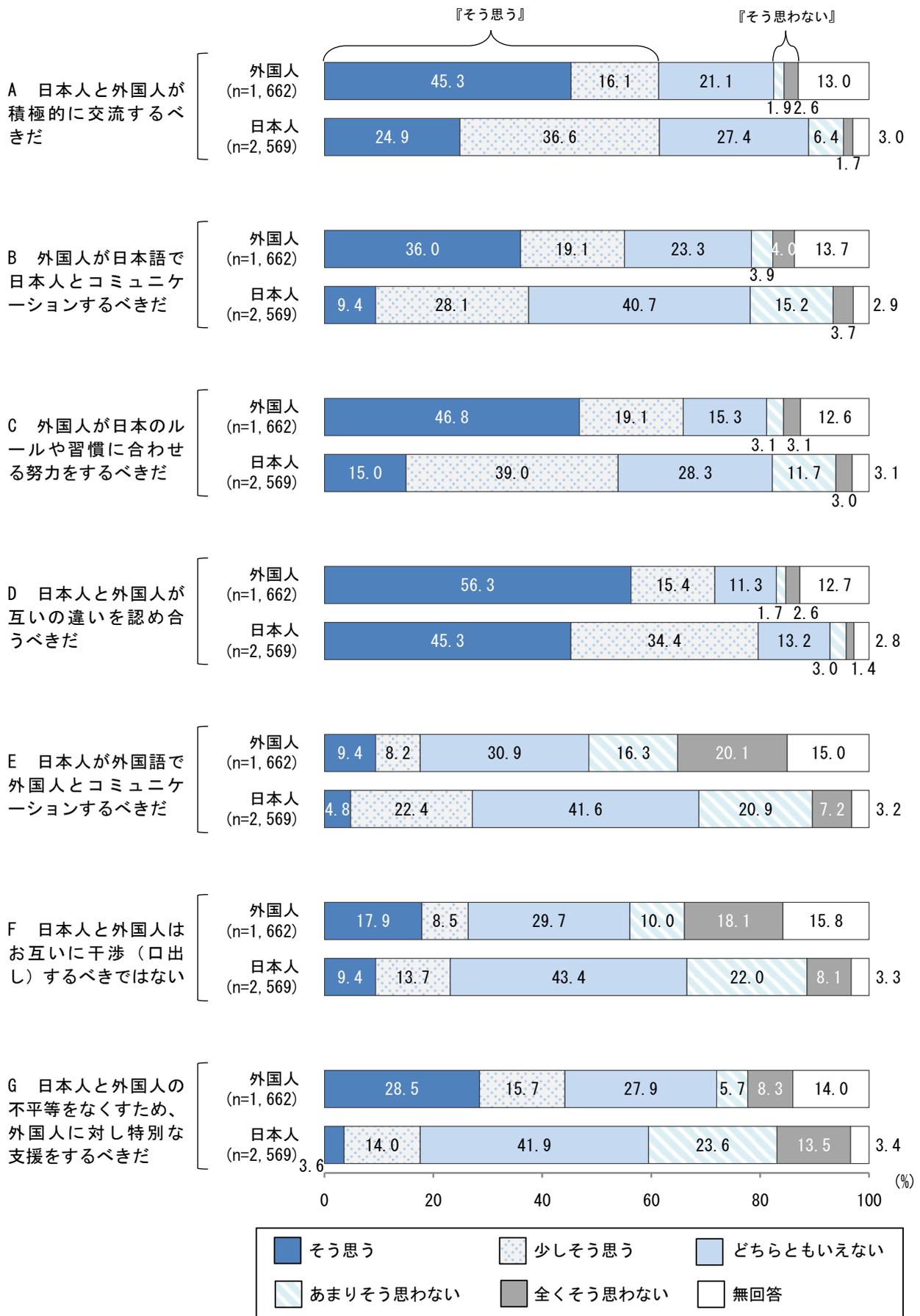
日本人と外国人の互いの付き合いについて、「難しいと思うことがある」は外国人市民 (57.9%) が日本人市民 (91.7%) を 33.8 ポイント下回っている。

【日本人と外国人の互いの付き合いで難しいと思うこと】



どのようなことが難しいのかについては、「日本人（外国人）との人間関係の作り方がわからない」、「文化や習慣が違う」、「日本人（外国人）と共通の話題が少ない」は外国人市民が日本人市民を上回っている。「言葉が通じない」、「付き合いきっかけがない」、「近所に日本人（外国人）が住んでいない」は日本人市民が外国人市民をいずれも 30.0 ポイント以上上回っている。

③ 多文化共生に対する考え方（外国人市民調査：問 28/日本人市民調査：問 16）



<コミュニケーションについて（設問B・E）>

- ・ Bの「外国人が日本語で日本人とコミュニケーションするべきだ」では、『そう思う』（「そう思う」と「少しそう思う」の合計）の割合は、外国人市民（55.1%）が日本人市民（37.5%）を17.6ポイント上回っている。
- ・ Eの「日本人が外国語で外国人とコミュニケーションするべきだ」では、『そう思う』の割合は、日本人市民（27.2%）が外国人市民（17.6%）を9.6ポイント上回っている。

<付き合い方について（設問A・C・F）>

- ・ Aの「日本人と外国人が積極的に交流するべきだ」では、『そう思う』の割合は、外国人市民（61.4%）と日本人市民（61.5%）のポイントにはほぼ差はない。
- ・ Cの「外国人が日本のルールや習慣に合わせる努力をするべきだ」では、『そう思う』の割合は、外国人市民（65.9%）が日本人市民（54.0%）を11.9ポイント上回っている。
- ・ Fの「日本人と外国人はお互いに干渉（口出し）するべきではない」では、『そう思う』の割合は、外国人市民（26.4%）が日本人市民（23.1%）を3.3ポイントと若干上回っている。

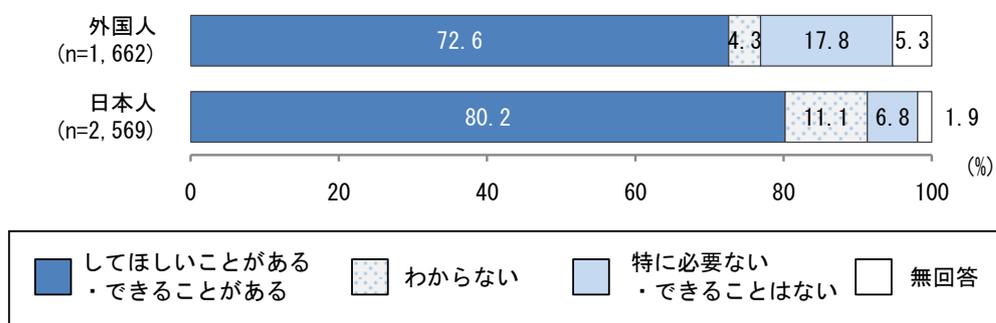
<外国人への支援について（設問G）>

- ・ Gの「日本人と外国人の不平等をなくすため、外国人に対し特別な支援をするべきだ」では、『そう思う』の割合は、外国人市民（44.2%）が日本人市民（17.6%）を26.6ポイント上回り、『そう思わない』（「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）の割合は、日本人市民（37.1%）が外国人市民（14.0%）を23.1ポイント上回っている。

(2) 外国人への支援

広島市で生活していくうえで外国人市民が日本人にしてほしいこと

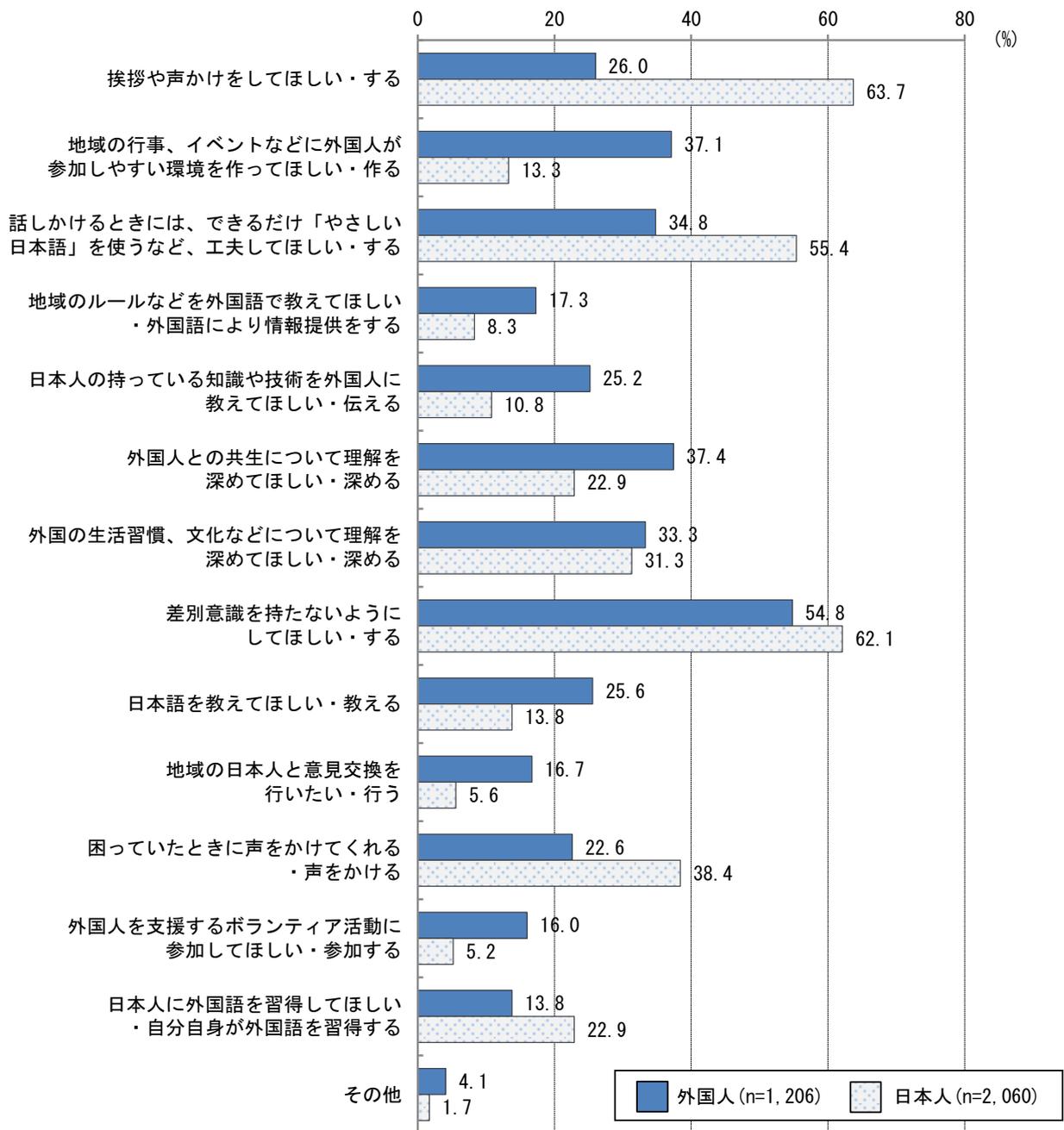
日本人市民が外国人に対してできること（外国人市民調査：問24/日本人市民調査：問9）



広島市で生活していくうえで、外国人市民には「日本人にしてほしいこと」を、日本人市民には「外国人に対してできること」を尋ねた。

「できることがある」と回答した日本人市民は80.2%であり、「してほしいことがある」と回答した外国人市民（72.6%）を7.6ポイント上回っている。

【外国人市民が日本人にしてほしいこと・日本人市民が外国人に対してできること】



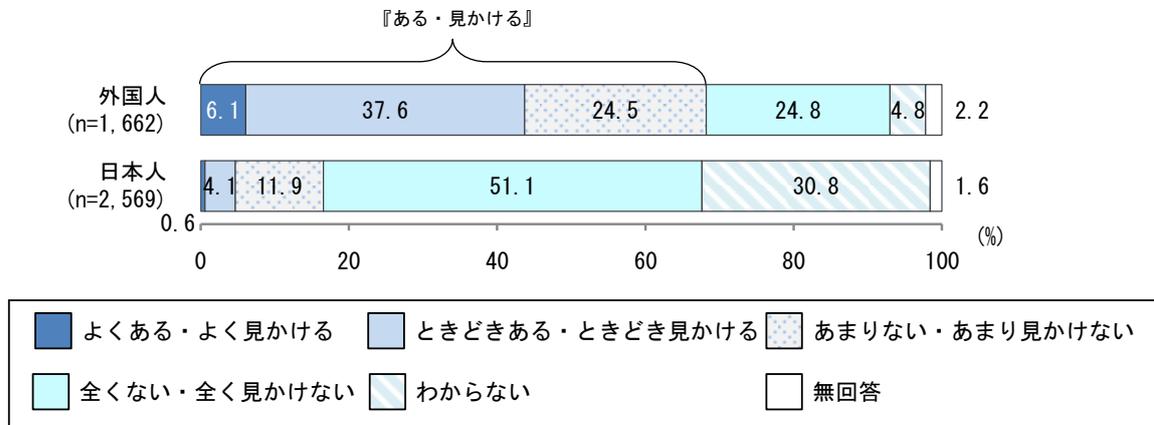
外国人市民には「日本人にしてほしいこと」を、日本人市民には「外国人に対してできること」を尋ね、回答の割合を比較した。

外国人市民が日本人市民を上回った選択肢は9つあり、そのうち「地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作してほしい・作る」は20.0ポイント以上上回っている。

日本人市民が外国人市民を上回った選択肢は5つあり、そのうち「挨拶や声かけをしてほしい・する」と「話しかけるときには、できるだけ『やさしい日本語』を使うなど、工夫してほしい・する」は20.0ポイント以上上回っている。

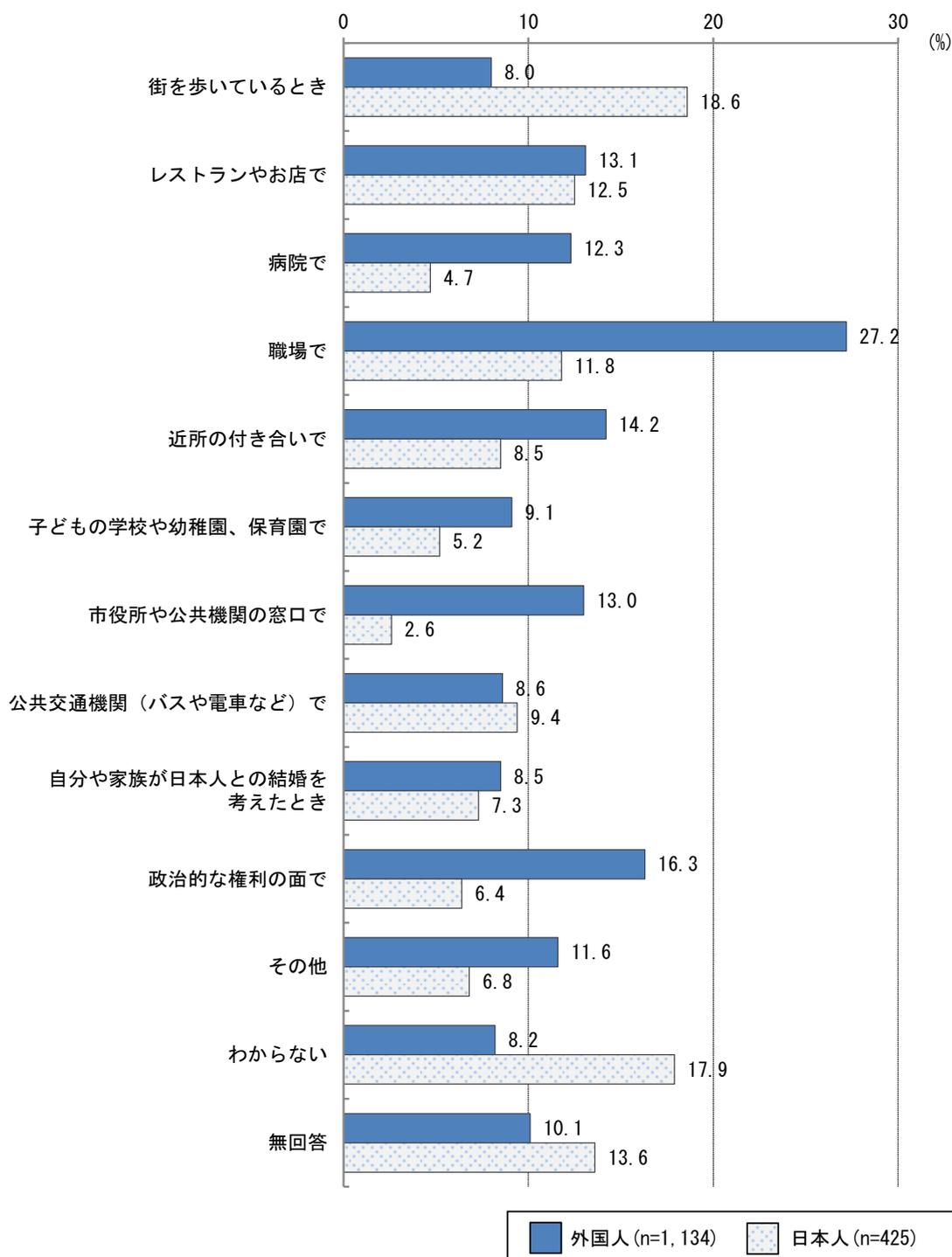
(3) 差別的な扱い

- ① 外国人市民が生活の中で嫌な思いをした経験、日本人市民が外国人に対する差別的な扱いを見かけた経験（外国人市民調査：問 17/日本人市民調査：問 13）



外国人市民が生活の中で嫌な思いをした、また日本人市民が外国人に対する差別的な扱いを見かけた経験を比べたところ、『ある・見かける』は外国人市民（68.2%）が日本人市民（16.6%）を51.6ポイント上回っている。

② 外国人市民が生活の中で嫌な思いをした、日本人市民が外国人に対する差別的な扱いを見かけた場面（外国人市民調査：問 18/日本人市民調査：問 14）



外国人市民には「生活の中で嫌な思いをした場面」を、日本人市民には「外国人に対する差別的な扱いを見かけた場面」を尋ね、回答の割合を比較した。

外国人市民が日本人市民を上回った選択肢は9つあり、そのうち「職場で」が最も差が大きい（15.4ポイント）。日本人市民が外国人市民を上回った選択肢は3つあり、そのうち「街を歩いているとき」が最も差が大きい（10.6ポイント）。